

ホルチユラカ

(馬齒莧科)

英名又は學名

ロトズモツス
サンブレント
パースレン(英)

和名

半支蓮
松葉牡丹
龍鬚牡丹
アメリカ草

原産地

ブラジル

花言葉

可憐・無邪氣



んたばつま

特性	一年生	説明及類似植物	摘
	匍匐性		
繁殖	繁殖期	花	草丈
	開花期		
挿種	春	各色	鉢縁花壇
	夏		
栽培法		五月	途

排水のよく日當りのよい所を選び播種すべし。性强健なれば一度蒔き付けて開花すれば翌年から前年の種子が地上に落ちた所から發生し開花するものであるから普通草花の栽培と同じく施肥すべし。播種困難なれば特に注意を要す。

ポインセチア

(大戟科)

英名又は學名

ユーホルピヤ
ポインセチア(英)

和名

猩猩草

原産地

北アメリカ



うさろやじろやし

特性	一年生	説明及類似植物	摘
	観葉		
繁殖	繁殖期	花	草丈
	開花期		
挿種	春	(葉) 白黄	二尺—三尺
	夏		
栽培法		六月—九月	切花
栽培法		六月—九月	花壇

栽培法は一般草花に準ず。

マリイゴールド (菊科)

英名又は學名 タチエテス (學)

マリイゴールド (英)

和名

紅雀草 萬壽菊 千壽菊

原産地 墨西哥

花言葉 悲しみ・事實



うさぐやじく

特性	一年生	説明及類似植物	摘	要
	萬壽菊は羽狀復葉にして鋸齒ある披針形の葉よりなり花は一重八重あり、一般に大形なり。			
栽培	播種 (秋)	開花期	花色	草丈
	六月—十月	六月—十月	橙・黄・橙・黄・橙	二尺—三尺
栽培	要	要	要	要
	春蒔は苗が二、三寸に伸びた頃目的の花壇なり鉢に植ゑてよいが、秋蒔は一回移植して越冬させ翌春の月中旬頃に開花迄に三回薄い液肥を施せば充分である。	三月中旬頃に開花迄に三回薄い液肥を施せば充分である。	三月中旬頃に開花迄に三回薄い液肥を施せば充分である。	三月中旬頃に開花迄に三回薄い液肥を施せば充分である。
用途	切花	切花	切花	切花
	花壇	花壇	花壇	花壇

マトリカリア (菊科)

英名又は學名 スノーボール

和名 南産地 歐洲



れつみか

マトリカリア (一・二年生草類)

特性	一年生	説明及類似植物	摘	要
	カミレツの小花頭を薬用に供す。			
栽培	播種 (秋)	開花期	花色	草丈
	七月—八月	七月—八月	黄・綠・白・黄・白	一尺—二尺
栽培	要	要	要	要
	春蒔は苗が二、三寸に伸びた頃目的の花壇なり鉢に植ゑてよいが、秋蒔は一回移植して越冬させ翌春の月中旬頃に開花迄に三回薄い液肥を施せば充分である。	三月中旬頃に開花迄に三回薄い液肥を施せば充分である。	三月中旬頃に開花迄に三回薄い液肥を施せば充分である。	三月中旬頃に開花迄に三回薄い液肥を施せば充分である。
用途	切花	切花	切花	切花
	花壇	花壇	花壇	花壇

ミラビリス

(紫茉莉科)

英名又は學名

フオア オクロック

和名

おしろいばな 銀化粧・工咽脂

花

原産地

熱帶亞米利加

花言葉

内氣・臆病



なばいろしお

特性	一年生	説明及類似植物	摘
	多年生		
球根	一年生	球根より毎年新梢を出す。花色多く夏秋花壇に適	要
	多年生		

栽培要点	播種—春	開花期	花色	草丈	用途
	七月—九月	七月—九月	白・紅・淡紅・黄	二尺—三尺	鉢植 花壇植

秋根を鉢に取りフリュームに入れて春移植すれば開花早し。

ミモサ

(荳科)

英名又は學名

ミモサ (學)

和名

おじき草

含羞草

れむりぐさ

原産地

ブラジル

花言葉

感覺鋭敏・落膽 意氣地なし



うさきじお

栽培要点	播種—春	開花期	花色	草丈	用途
	七月—九月	七月—九月	淡紅	七寸—九寸	鉢植

栽培法は一般草花に準ず。

ミオソチース

(紫草科)

英名又は學名

フオアゲット

和名

ミーナット

忽名

原産地

歐洲

花言葉

眞實の愛情・眞の戀・私を忘れないで下さい



さくなれすわ

特性	一年生・二年生	根莖は細く地上に横臥し、先端斜上し、短い。柔下	摘
説明及類似植物	根莖は細く地上に横臥し、先端斜上し、短い。柔下	類る可憐なる小輪花にして愛用せらる。	要
繁殖法	開花期	草丈	用途
四月—六月	鮮青	五寸—一尺	鉢花 植壇

普通は春彼岸頃に播種し、發芽後苗が一寸位に伸びた時に四時位の距離を移植し、根を張らせぬに注意する。霜除けを施して越冬せしめ、翌春定植地又は鉢に移植する。肥料は定植後馬糞か堆肥の必要なく腐熟したものを用いる。此種は一般に濕地を好む。

ミムラス

(玄參科)

英名又は學名

モンキーフラワー(英)

和名

ふいりきばなのみぞほうづき

原産地

亞米利加



きざうはぞみのなばきりいふ

特性	一年生・二年生	葉は幅の広い楕圓形にして縁に疎らな鋸齒がある。夏頃になると上方の葉腋上に短く花梗を持つた大形の美しい花を咲く。	摘
説明及類似植物	葉は幅の広い楕圓形にして縁に疎らな鋸齒がある。夏頃になると上方の葉腋上に短く花梗を持つた大形の美しい花を咲く。	草丈	用途
繁殖法	開花期	一尺—二尺	鉢花 植壇
六月—八月	帯褐紫	一尺—二尺	鉢花 植壇

秋播はフレイムにて越冬せしむ、其他栽培法は一般草花に準ず。

リナリヤ

(玄參科)

英名又は學名

姫金魚草

むらさき

原産地

モロコシ



らんらんうきさらむ

特性	多一年生	一年生	一年生
	説明及類似植物	茎直立し葉は線状にして花は莖紫色総状に着生し下唇は橙黄色基部白色なり上唇は深裂す、金魚草の小花の如し。	群生せしむれば美觀を呈す、春花壇には必要なり。
栽培要点	繁殖期法	開花期	草丈
	六月—八月	花	一尺—二尺
用途	花色	白赤青 黄紫紫	切花 花壇
	草丈	一尺—二尺	用途

リナム

(亞麻科)

英名又は學名

リナム

ムス(英)

和名

紅花亞麻

原産地

アフリカ

花言葉

私は貴方の親切を感謝致します



まあなばにべ

特性	多一年生	一年生	一年生
	説明及類似植物	ニバナアマニ茎高さ一尺二寸に達し、葉は互生にして柄を欠く。夏、日紅色にして美麗なる五葉を開く。又、一年生草本なり。莖高さ二尺に達し、葉は互生す。夏、日青色の五瓣花を着生し、繖形花序をなす。	アマの莖の皮部より繊維を採り、工業用として重用す。種より油を採り、工業用として重用す。
栽培要点	繁殖期法	開花期	草丈
	六月—八月	花	一尺—二尺
用途	花色	紅	花壇
	草丈	一尺—二尺	用途

ローダンセ (一・二年生草類)

ローダンセ

(菊科)

英名又は學名

ヘリプテラム

ローダンセ (英學)

和名

はなかんざし

原産地

歐洲



しざんかなは

栽培法は一般草花に準ず。	栽培要點	播種—秋	繁殖期法	一年生	特性	摘
		五月—十月	開花期	桃白・赤	花	
		一尺—一尺五寸	草丈	切花	用途	摘
		一尺—一尺五寸	草丈	切花	用途	摘

アマリリス

(石蒜科)

英名又は學名

カントグイ

和名

じやがたら

原産地

歐洲及び熱帶亞

米利加

花言葉

程よい美しさ

誇り・人工的

沈黙・静寂

淡色・美過ぎる

濃色・貴方は口

貴方が多い



すいりまゐ

鉢植するには球の直径の三倍大位の鉢を選ばむ。粗い砂を混ぜ、腐熟した葉土と牛糞を同じ位の割合で入れ、肥料は普通は鉢植の度に六寸前後に液肥を二

アマリリス (球根類)

アガパンサス (球根類)

アガパンサス

(百合科)

英名又は學名

アフリカン

リリー

リリー

和名

紫君子蘭

原産地

アフリカ喜望峯

花言葉

戀のたより



らんしんくきさむ

特性	葉は厚くして狭く長さ二尺位にて根際より茎の頂に多数を傘状に着生す。
説明及類似植物	性強健にして露地にて栽培し得らる。
摘	要
分球	春秋
繁殖期法	植込期
開花期	三月—四月
花色	青白 藍
草丈	二尺
用途	鉢花 庭花

栽培要点
 用土は粘質壤土がよく、肥料は油粕が適す。發育期間中一ヶ月一回位の割合に施肥す、花壇の場合は三、四回でよし。露地の場合五、六寸の鉢に夏冬共日光の直射を受ける所に良く、冬は根が鉢内に廻り茎を押し上げて行ふ、土の上には現はれる様にならば充分灌水し、冬は乾かな

アネモネ

(毛茛科)

英名又は學名

パスキユ

フランダワ

和名

しめぎ

原産地

秋丹

花言葉

菊咲白花

同 貴方を愛しま

同 貴方を信じま

同 少ない・待受

同 貴方を信じま

同 貴方を信じま

同 貴方を信じま

アネモネ (球根類)

特性	球根性
説明及類似植物	1. 罌粟咲種 普通のもので球根状をなし四月に開花す 2. 星咲種 花形稍小にして星状をなす球根なり 3. 秋牡丹 (秋明菊・貴船菊) 秋に開花するもので自生するものあり 線状根をなす 4. 雪割草 早春開花す、葉柄に白毛を有し冬期に於ても枯死せず 線状根をなす アヘパチカ (學) (宿根草類 雪割草参照)
摘	要
分球	春秋
繁殖期法	植込期
開花期	三月—四月
花色	紅・黄・桃
草丈	五寸—八寸
用途	鉢花 庭花



ネモネア

栽培要点
 肥料は油粕と馬糞の同量を混じり發熱しない程度に腐熟せしめたものを用ふ。培養土は眞土三分、腐葉土二分、砂一分、腐熟馬糞三位の割合に用ふ。

オキザリス

(酢醬草科)

英名又は學名

ウッド

ソール

和名

はなかたばみ

自生地

路傍に自生す

花言葉

私は貴方と生を共に致します



みばたかなは

特性	球は鱗莖にて紡錘状をなす、葉はかたばみ類し矮性なり、花は花莖の頂に生じ大なり。	摘	終年開花するもの、如し。
	要		
説明及類似植物	球は鱗莖にて紡錘状をなす、葉はかたばみ類し矮性なり、花は花莖の頂に生じ大なり。	摘	要
繁殖期法	分球—秋	繁殖期法	秋
植込期	三月—四月	開花期	十一月—四月
花色	淡紅	草丈	三寸—五寸
用途	鉢花	用途	植壇

栽培要點
土質は排水のよい、よく肥えた砂混りの畑土がよい。尚日當りのよい土地を選ばべし。成長中は水を缺かさないうように灌水に注意し、植付け後水の代りに極めて薄い液肥を數回施すをよしとす。

カンナ

(曇華科)

英名又は學名

カンナ (學)

和名

だんんどく

原産地

印度馬來並支那

花言葉

忘想・疑惑(總)
赤花—堅實な最
黄花—永久



くどんだ

特性	葉は大形にして披針形乃至長橢圓形をなし、紅色の筒花を有する。筒花は三筒をなし、大形の花を有する。筒花は三筒をなし、大形の花を有する。筒花は三筒をなし、大形の花を有する。	摘	要
	夏壇の代表的ものなり、在來種に美麗なるもの少なきも、近時輸入種には優美なるもの多し。		
説明及類似植物	葉は大形にして披針形乃至長橢圓形をなし、紅色の筒花を有する。筒花は三筒をなし、大形の花を有する。筒花は三筒をなし、大形の花を有する。	摘	要
繁殖期法	分球—春	繁殖期法	春
植込期	七月—十月	開花期	七月—十月
花色	赤・紋・紅	草丈	二尺—五尺
用途	切花	用途	花壇

栽培要點
種子は固く其儘にては發芽困難なるに、腐熟な堆肥を木灰を混じりたる後下種す。栽培せんとすに、土を覆ひ一週間に二、三回灌水し、湿り勝ちな位にする。植は先づ穴を掘り、發芽後は稀薄なる液肥を適宜に施す。

クロツカス (球根類)

英名又は學名 (鳶尾科)

和名 クロツカス (學)

原産地 紅花・藏紅花・蘭

西亜細亞 (藥用種)

花言葉 觀賞用 青春の

堅實・誠意を汲んで下さい



んらふさは

特性	耐寒性	葉は細く線状をなし一箇の球から十数枚の葉を中央より六つ漏斗状の受け花梗は初咲く時は葉の間に接し上に出るので先に花を結ぶ。	摘	寒氣に強し夜間閉づものは健胃・鎮
繁殖	分株 秋	漸く地上に出るので先に花を結ぶ。	要	經・通經に用ふ。
栽培	秋植	漸く地上に出るので先に花を結ぶ。	要	經・通經に用ふ。
要点	三月-四月	漸く地上に出るので先に花を結ぶ。	要	經・通經に用ふ。
要点	紫・白・絞・黄	漸く地上に出るので先に花を結ぶ。	要	經・通經に用ふ。
要点	二寸-五寸	漸く地上に出るので先に花を結ぶ。	要	經・通經に用ふ。
要点	藥鉢花壇	漸く地上に出るので先に花を結ぶ。	要	經・通經に用ふ。
要点	用植壇	漸く地上に出るので先に花を結ぶ。	要	經・通經に用ふ。
要点	途	漸く地上に出るので先に花を結ぶ。	要	經・通經に用ふ。

コンバアラリア (百合科)

英名又は學名 (百合科)

和名 鈴 蘭

原産地 本邦北部、歐洲

花言葉 幸



んらずす

コンバアラリア (球根類)

特性	多年生 耐冬性	地下莖より二、三箇の長楕圓形葉を生じ六	摘	本邦にては信州淺間山、北海道に
繁殖	分株 秋	鐘状の小花は頗る佳香を有す。	要	最近結核豫防デーに用ひらる。
栽培	春秋植	鐘状の小花は頗る佳香を有す。	要	最近結核豫防デーに用ひらる。
要点	五月-六月	鐘状の小花は頗る佳香を有す。	要	最近結核豫防デーに用ひらる。
要点	白	鐘状の小花は頗る佳香を有す。	要	最近結核豫防デーに用ひらる。
要点	五寸-一尺	鐘状の小花は頗る佳香を有す。	要	最近結核豫防デーに用ひらる。
要点	切鉢花壇	鐘状の小花は頗る佳香を有す。	要	最近結核豫防デーに用ひらる。
要点	花植壇	鐘状の小花は頗る佳香を有す。	要	最近結核豫防デーに用ひらる。
要点	途	鐘状の小花は頗る佳香を有す。	要	最近結核豫防デーに用ひらる。

スノードロップ (球根類)

スノードロップ (石蒜科)

英名又は學名 ガランタス (學) スノードロップ (英)

和名 雪の雪

原産地 松雪の雪

中央亞細亞

花言葉 希望 目的を遂行する



きゆのつま

特性		説明及類似植物		摘	
耐冬性	鱗莖は卵形をなし、線形乃至八分なり。葉は通常二枚を出し、幅二分にして溝を有す。花は小梗上、一箇づ、着け、下向きなり。花瓣は鈍頭なり。白色なるも、外は緑色なり。過ず。	寒氣に強し。一重咲八重咲あり。	性	栽培	要點
繁殖期法	分球—秋	秋植	三月—四月	白	三寸—五寸
栽培	分球—秋	秋植	三月—四月	白	鉢花植壇
栽培	分球—秋	秋植	三月—四月	白	鉢花植壇
栽培	分球—秋	秋植	三月—四月	白	鉢花植壇

ゼフランテス (石蒜科)

英名又は學名 フエアリー

和名 玉さくらんもどき

原産地 南米・北米

花言葉 純心の愛



れだすまた

特性		説明及類似植物		摘	
耐冬性	タマスダレ—葉は狭長なる線形にして、葉の間に多数の花を有せる。花は白色、一花の宛をつける。この花は、大抵上向きに咲く。この花の外側の三瓣は、花の内部に咲く。この花の外側の三瓣は、花の内部に咲く。	性	栽培	要點	要點
繁殖期法	分球—春	春植	八月—十月	白	八寸—一尺
栽培	分球—春	春植	八月—十月	白	鉢花植壇
栽培	分球—春	春植	八月—十月	白	鉢花植壇
栽培	分球—春	春植	八月—十月	白	鉢花植壇

ゼフランテス (球根類)

ダイリア (菊科)

英名又は學名 (學)
 ダイリア

和名
 天竺牡丹

原産地
 墨西哥

花言葉
 感謝・移り氣

白花
 親切を感

赤花
 貴方は私

淡色
 私を喜ぶ

絞りの幸
 福は貴方

下頭の事
 分に終始

黄色
 貴方に愛

福
 されて私

特性
 多年生

摘
 特殊なるダイリア
 スタム杯状小形
 トムサム杯状小形
 グロナタ芳香を有す
 グリーナタ緑色花を有す

1. 一方重咲(シングル) || 平瓣一重咲のもの
 2. カクタス咲(縦れ咲) || 一重のカクタス
 3. 八重のカクタスとあり、花弁は縦に
 4. 細長く狂ひをなす。花弁は縦に
 5. 縦れ咲(ホンボン咲) || 花形球形をなし其
 6. 一片は筒状をなす、花柄丈夫規則的
 7. 螺旋状をなし花は小形花梗丈夫に
 8. 蝶形をなし花は小形花梗丈夫に
 9. 菊咲(デコラチーブ) || 平瓣の八重咲種
 10. 端稍擦曲す、花徑大にして花心を現は
 11. 牡丹咲(ピオニー) || 花弁少く幅廣く瓣
 12. カラレット咲 || 一重咲の花心の周圍に
 13. 小花を着けたるが如きもの
 14. アネモネ咲 || 一重咲の花心の小なる處
 15. 多数の小花着生して盛り揚りたる
 16. シミウ咲 || 八重咲で花球形花弁は何
 17. 観あり
 18. 小端となつてゐる。花色は軍色で花冠の
 19. フアンシイ咲 || 花は前者と同一なるも
 20. 花が淡き地色に刷毛目又は斑點を現は
 21. 9. し花の先端色淡きものなり。



んたばくじんて

<p>一、株の儘一時假植し置き發芽後切り離して定植するを可とす。</p> <p>二、根柱を建てるを忘るべからず。</p> <p>三、七月末に地上二尺位にて臺刈を行ひ、秋花を得る様工夫するを要す。</p> <p>四、花蕾は三又狀に生ずるを以て大花を得るには中央のもの一箇となすこと。</p> <p>五、肥料は馬糞或は厩肥を兩手に山盛り一杯と過燐酸石灰一握りを混和し直接球根に觸れ</p> <p>六、肥料は馬糞或は厩肥を兩手に山盛り一杯と過燐酸石灰一握りを混和し直接球根に觸れ</p> <p>七、肥料は馬糞或は厩肥を兩手に山盛り一杯と過燐酸石灰一握りを混和し直接球根に觸れ</p> <p>八、好枯病の虞れある時は窒素肥料よりも磷酸質及び加里質肥料を充分に施し排水を良</p>	<p>接木</p> <p>春</p>	<p>播種</p> <p>春</p>	<p>挿木</p> <p>夏</p>	<p>株分</p> <p>春</p>	<p>繁殖</p> <p>期法</p>	<p>植込期</p> <p>開花期</p> <p>花色</p> <p>草丈</p> <p>用途</p>			
	春	春	春	春	植込期	六月—七月	各色	三尺—五尺	鉢切花
	春	春	春	春	開花期	九月—十月	各色	三尺—五尺	鉢切花
	春	春	春	春	用途				(大鉢) 植花壇

チューリップ (球根類)

チューリップ

(百合科)

英名又は學名
チューリップ

和名
鬱金香

原産地
歐洲 土耳其

花言葉
名聲の高きを表す

白花 失戀、永らく御待ちし

赤花 戀の表白

絞り咲 不滅の愛

紫花 貞操

黄花 失望

特性	説明及類似植物	摘
耐冬性	1. 早春咲くチューリップは生種にて各種あり 2. 晩咲チューリップの花は種々なものなり 3. ダウインチューリップは性強健花梗長 4. 五月咲チューリップはダーウイン種に酷似し、花弁反り返る傾きあり、此外斑葉あり	要
栽培	1. 3. 4. 四月 2. 4. 五月 3. 4. 五月 4. 4. 五月	要
繁殖	球根	要
分球	秋	要
開花期	1. 3. 4. 四月 2. 4. 五月 3. 4. 五月 4. 4. 五月	要
花色	白・紅・黄・赤	要
草丈	三寸—八寸 五寸—一尺 一尺—一尺五寸	要
用途	鉢植 切花 庭植	要



うかんこつろ

チューベローズ

(石蒜科)

英名又は學名
ホリアンサス

チューベローズ (學)

和名
月下香

原産地
墨西哥

花言葉
危険な道樂

原産地
墨西哥

花言葉
危険な道樂

原産地
墨西哥

花言葉
危険な道樂



うかかづけ

特性	説明及類似植物	摘
水仙の如き塊莖を有し葉は披針形全邊にし各葉腋に二花を出す夕刻開花し朝になり閉づ。	八重咲種あり。強烈なる佳香を有す。	要
栽培	球根	要
分球	秋	要
開花期	七月—九月	要
花色	白	要
草丈	三尺—四尺	要
用途	切花	要

普通露地でも栽培出来るが寒氣を虞るゝ故冬は防寒設備をすべし。温室又はフレーム中にて栽培すれば安全なり。

チューベローズ (球根類)

チグリジア (球根類)

チグリジア

(鳶尾科)

英名又は學名

タイガー

チグリジア

チグリジア

チグリジア

チグリジア

チグリジア

チグリジア

チグリジア

チグリジア

チグリジア

チグリジア

チグリジア

チグリジア

チグリジア

チグリジア

チグリジア

チグリジア

チグリジア

チグリジア

チグリジア

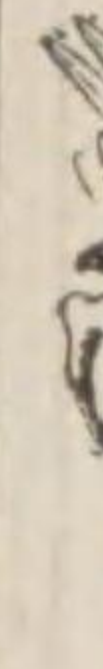
チグリジア

チグリジア

チグリジア

チグリジア

チグリジア



リゆらと

特性	葉は劍狀にして並行脈を有し互生す、花は三箇宛集りて開き大形の苞あり、黄赤色に紫色又は紅色の斑點あり。	摘
----	--	---

繁殖期法	春秋	開花期	六月—七月	花色	白・濃紅 黄・樺・緋	草丈	一尺—二尺	用途	切鉢花 花植壇
------	----	-----	-------	----	---------------	----	-------	----	------------

栽培要點	一、用土は粘質壤土又は壤土に少量の腐植土に混じたものがよい。 二、肥料は植付前堆肥を主要肥料とし此れに少量の油粕を混合せるものを球根下に施用す。 三、寒氣を虞れる故花壇は防寒に注意すべし。 四、鉢植は冬季フレーム又は温室中に入れ保護すべし。
------	---

ナーシサス (石蒜科)

英名又は學名

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス

ナーシサス (球根類)

特性	1. 房咲水仙 2. 房咲水仙 3. 房咲水仙 4. シヨウキユル水仙	説明及類似植物	摘
----	--	---------	---

繁殖期法	春秋	開花期	四月—五月	花色	白・黄	草丈	一尺—一尺五寸	用途	切鉢花 花植壇
------	----	-----	-------	----	-----	----	---------	----	------------

栽培要點	露地栽培を行ふには日光のよ、照射の餘り烈しくしない、土地を選び丁寧に耕す、或は腐葉土と砂を混合して用ひ、球根の腐敗を防止すべし。追肥は開花前と開花後とに施す。用ひ、球根の腐敗を防止すべし。追肥は開花前と開花後とに施す。
------	---



んせいす

パピアナ (球根類)

パピアナ
(鳶尾科)
英名又は學名
パピアナ(學)
原産地
南部亞弗加利

特性	性	説明及類似植物	球莖は徑四分位にして長い頸を持ち繊維で蔽はれてゐる。葉は劔状にして莖より短か
			長出く蔽は球莖は徑四分位にして長い頸を持ち繊維で
繁殖	繁殖	分球—秋	三月—四月
期法	期法	秋植	三月—四月
植込期	植込期	三月—四月	三月—四月
開花期	開花期	三月—四月	三月—四月
花色	花色	濃紫	濃紫
草丈	草丈	五寸—一尺	五寸—一尺
用途	用途	鉢花	鉢花
		植壇	植壇

直徑五、六寸の鉢に十球乃至二十球を植込む。培養土は砂まじりの壤土に腐葉を混じたものが多い。植込時はフルム内に入れ、後温室に移し、水を充分に與へ、又日光にもよく當てる。花莖を出す頃一週に二回づつ、薄液肥を施す。開花後は除々に乾燥せむ。量を減じ、子球の成熟を圖る。植換への時期まではそのまゝとし、水を與へず鉢土を乾燥せむ。

ヒヤシンス (百合科)

英名又は學名
コンモン
ヒヤシンス(英)
和名
風信香
原産地
歐洲
花言葉
運動・勝負



スンシヤヒ

ヒヤシンス (球根類)

特性	性	説明及類似植物	オランダヒヤシンスは香氣高く八寸位となる。スペインヒヤシンスは矮性、青色の鐘状花を着く。ローマンヒヤシンスは早咲種にして花梗を多く生ず。
			球根類として最も賞美さるゝものなり。
繁殖	繁殖	分球—秋	三月—四月
期法	期法	秋植	三月—四月
植込期	植込期	三月—四月	三月—四月
開花期	開花期	三月—四月	三月—四月
花色	花色	白・紅・青	白・紅・青
草丈	草丈	八寸—一尺	八寸—一尺
用途	用途	鉢花	鉢花
		植壇	植壇

一、植込は深さ三、四寸とし、肥料は牛糞をよしとす。
二、鉢は露地にて土中に埋め、後掘上ぐるを可とす。
三、水栽は根部のみ水中に浸し、後掘上ぐるを可とす。
四、五日にして換水す。水は河水にて可なり。

ムスカリ (球根類)

ムスカリ

(百合科)

英名又は學名

グレイプ

ヒヤシンス

(英)

和名

クロムスカリ

原産地

コーカサス



リカスムロケ

特性	説明及類似植物	摘	要	耐冬性	葉は狭長にして中心より花莖を抽出し小形の壺状花を總狀に着生す。	花壇の縁取りに適す。
				特性	説明及類似植物	摘
繁殖期法	植込期	開花期	花色	草丈	用途	
分球	秋	三月—四月	紫・青・白	五寸—八寸	鉢花	植壇

モントブレチア

(鳶尾科)

英名又は學名

トリトニア(學)

モント

ブレチア(英)

和名

ひめたらぶ

しめたらぶ

原産地

南亞弗利加

花言葉

誠意はあるけれど氣ばかりです



ぶらやしろとめひ

特性	説明及類似植物	摘	要	多年生	莖は細く分枝し、葉は廣披針形乃至劍狀にして幅二—五分。花莖の高さと同じ位なり	性强健、グラジオラスの如き形にして小なり。
				耐冬性	花は種類により、花径は四—七分位、雄蕊、花柱等に變異多し。	性強健、グラジオラスの如き形にして小なり。
繁殖期法	植込期	開花期	花色	草丈	用途	
分球	秋	七月—八月	赤・樺	一尺—二尺	切花	花壇

モントブレチア

(球根類)

ラナンキュラス

(毛茛科)

英名又は學名

バツターカッパ

和名

クロフー

はなきんぼうげ
うまのあしがた
はなきつねぼた

原産地

歐洲

花言葉

貴方の人格が現
れて向上致しま
すは富豪になり
たい(總稱)
白花||純潔
黄色||優しき心
褐色||勝利者
赤花||勝利者

特性

性

説明及類似植物

摘

要

フランシス系||早生大輪
トルコ系||八重の切咲種

アネモネに似て一層美なり、一重
咲及八重咲種あり。

繁殖期法

植込期

開花期

花色

草丈

用途

分球—秋

秋植

三月—四月

淡紅・黄
白・絞り

一尺五寸

鉢花
植壇

栽培要点



一、用土は壤土又は砂壤土がよく、多少の腐植質の交つたものは一層
良好である。畑植には一反歩に對し三百貫内外の堆肥を要す。肥
料はアネモネに準ず。露地植の深さは三寸。間隔は五、六寸、鉢植は五寸鉢に三球、六
寸鉢に五球程度とす。

リリウム

(百合科)

英名又は學名

リリウム

和名

百合

自生地

野山に自生

花言葉

純潔・無垢
白花||甘美
黄花||虚偽
鹿の子百合||輕
卒
山百合||全美
鐵百合||淑女

離瓣咲

リ、ウム (球根類)

互生葉

反卷咲

不良
花頭向天

花頭
地面向

花頭
側面向

中形

淡紅花 紫紅斑點... 赤鹿の子百合...
白花 離心青色... 白鹿の子百合...
山百合(蓬萊寺百合、
觀山百合、吉野百合)

大形

白花 瓣端紅色... 口紅百合...
白花 瓣心紅色... 紅筋百合...
淡紅花 紅暈... 有香...
無香... 覆輪、受袂あり...
シヤポニカム

有珠芽

無珠芽

瓣爪狭し

花用

透百合(リ、エレガンス(學)) 自生するものあり
開花期五、六月、丈一、二尺、觀賞用

鬼百合(卷丹・天蓋) 自生もあり丈
變種に八重天蓋あり 四、五尺
リ、チグリナム(學) 觀賞又は食用
小鬼百合

自生するもの
丈二、三尺

八月
輸出用又は食
用、開花期七、

莖平滑白粉を
有す、丈五、
六尺香氣高し

莖葉強剛、草
丈三、四尺、香
氣少し觀賞用
開花期七、八月

アスパラガス (普通温室栽培花卉類)

アスパラガス

(百合科)

英名又は學名

アスパラガス

(學)

和名

蓬萊草

おきじかくしまつばらうど

原産地

歐洲

花言葉

變化がない



しくかじきだんらお

特性

耐寒性

宿根

性

説

明

及

類

似

植

物

状

物

類

似

植

物

1. ア・ブリモサス 最も普通のもので葉は短く密生、花は白色小にして古株となれば種子を生ず、大株となれば七八尺に伸長し新梢の先端は蔓性を呈す
2. ア・ブリモサス・ナ、ス 前者の改良種にして前者よりも更に細葉羽毛状を呈す
3. ア・スプレングリー 葉枝を環状に出し莖は垂下す、葉は一吋内外に成長す
4. ア・メデオロイテス 葉は一吋内外、葉幅割合に廣く百合の葉の細きが如し花は單瓣にして芳香あり「スマイラツクス」と稱し栽培せらるゝものなり
5. ア・ルウシダス 天門主と稱せらるゝものにして露地にて栽培せらるゝものなり (天門主参照)
6. ア・ミリオクラダス 木立性にして丈短かく葉は松葉状色緑銅色なり。

繁殖

株分

挿木

播種

殖殖

期法

春秋

春秋

開

花

期

葉

花

色

白

黄

草

丈

一尺

七尺

用

途

切鉢

花植

一、冬は温室フレームに入れ夏は簑下にて栽培す。
二、用土は腐葉土、壤土、砂腐熟堆肥を用ふ。

アジアンタム

(陰花植物)

(羊齒類)

英名又は學名

ヘヤーフェーン

和名

はこねしだ

石

長生

花言葉

眞面目・愛嬌ある



だしねこは

特性

性

説

明

及

類

似

植

物

状

物

類

似

植

物

状

物

類

似

植

物

状

物

類

似

植

物

1. 羊齒類の一種にしてアスパラガスと共に其栽培廣し。
2. ア・カピルス ビエネリス (ほうら、しだ) 葉柄黒色細く葉は長卵形小羽片は楔形をなす。葉片薄く上縁深裂す、草丈一尺五寸位
3. ア・ベードラム (くじやくした) 葉柄紫色直立性にして葉は扇状をなし小羽片は一方に偏す、耐冬性なり、草丈一尺五寸位
4. ア・コダタム (くじやくでんだ) 葉柄黒褐色針線状をなし小羽片を斜形し小羽片の上縁丸く切れ込む両面に毛あり、草丈四、五寸
5. ア・フオモサナム (なんやうくじやく) 葉柄剛硬直立性にして粗毛あり小羽片は楔形をなす、草丈二尺内外
6. ア・ヒスピタラム (あらげくじやく) 葉柄強剛直立性にして黒褐色を帯び小羽片は斜形をなす、草丈一尺五寸位
7. ア・キユネアタム (からくさほうら、しだ) 葉柄黒色細長にして葉は楔をなし小羽片は薄質楔形變種多し、草丈一尺内外
8. ア・エチヲビカム 葉柄細く半直立性にして葉は三角形をなし小羽片は半圓形をなす、草丈一尺内外

アジアンタム (普通温室栽培花卉類)

繁殖期法	觀葉期	花色	草丈	用途
株分—春 播種—胞子春	四綠季葉		五寸—一尺	切鉢 花植

栽培要點

一、冬は温室に、夏は簞下にて栽培す。
 二、用土は腐葉土、堆肥を用ふ。
 三、鉢仕立の場所は、半陰にして、腐葉土三分、砂一分の割合に混じたものが最適なり。
 四、肥料は、主として、油粕と少量の骨粉を用ふ。
 五、葉を新らしき充分肥料分のある用土に、毎年、或は隔年に新らしき充分肥料分のある用土に換ふ。
 六、土を指で押す程度とす。
 七、鉢の下部は排水を良好にするため二分程瓦礫を入れ、土を指で押す程度とす。
 八、鉢の下部は排水を良好にするため二分程瓦礫を入れ、土を指で押す程度とす。
 九、鉢の下部は排水を良好にするため二分程瓦礫を入れ、土を指で押す程度とす。
 十、鉢の下部は排水を良好にするため二分程瓦礫を入れ、土を指で押す程度とす。

アザレア

(石南科)

英名又は學名

アザレア (英)
 ロードデ (學)

和名

西洋躑躅
 映山紅
 羊躑躅
 躑躅

原産地

東亞

花言葉

節制及節欲・貴
 方が顔を赤くした
 たのは私を獲た
 事なる初戀の喜び
 赤花戀の喜び

アザレア (普通温室栽培花卉類)

性状及類似植物

西洋種	日本種
3 アザレア ・ボンチカ ・ボンチク ・アザレア 小枝には毛を有し花梗及葉柄には線	1 アザレア ・マクランツム ・サツキ ・ツツシフロラ ・リウキウツ ・ウヰタム ・セバラム ・イソツ ・ウヰタム ・アザレア 常緑性にして枝は褐色の毛茸を有し、莖は

アザレア (普通温室栽培花卉類)



じもつちも

栽 培 要 點	接木	播種	挿木	繁殖	4 有す、花色には黄色、白色を主となす、葉は楕圓形又は楔状をなす。 ア・カナデンシス(アメリカ・アザレア)は葉は卵形にして鈍、葉面平滑裏面に軟毛あり、花は一寸位淡紫色、瓣狭く下方の瓣は反轉す、落葉性なり。
	春切接	春	五月	期法	
	春	紅・白・赤	花	色	
	其他各色	一尺—三尺	草	丈	
栽 培 要 點	接木	播種	挿木	繁殖	途
	春切接	春	五月	期法	鉢植
	春	紅・白・赤	花	色	
	其他各色	一尺—三尺	草	丈	

一、鉢用土は栃木縣鹿沼地方に産する鹿沼土を使用する可とす。
 二、右用土の代りに腐葉土五分園土(粘氣ある)四分砂一分位の割合にて用ふ。
 三、成長極めて鈍きものなれば灌水に撒水を充分ならしむべし。
 四、芽の伸びるに従ひ任意の形に整枝し、徒長する枝は基部に一、二芽を残して剪除し、開花後は枝先を剪り揃へて置くこと。
 五、追肥は開花前後に二、三週間をおいて一回、十月頃一回、油粕の腐汁を二倍に稀薄にして施すべし。
 六、毎年新らしき培養土に植換へを行ふを可とす。

エリカ (普通温室栽培花卉類)

エリカ (石南科)
 英名又は學名 エリカ(學)
 和名 くるしべえりか
 原産地 歐洲、地中海地方
 花言葉 一騒動起す・狐獨不
 和を起す・幸運の印
 白花

栽 培 要 點	挿木	繁殖	常緑木	特性 說明及類似植物 枝は草筍の如く小枝を密生し葉は小披針形にして花は鈴蘭の如く釣鐘状をなし米粒大にして花腋に生ず。	摘 要 花汁よりはヒーザ・エルと稱する酒を製す。蜂蜜と加工しメイドといふ酒を作り或は若芽を摘んでピールの醗酵母中に加へて廣く用ふ。
	挿木—春	期法	灌		
	春	開花期	水		
	桃・白	花	色		
栽 培 要 點	挿木	繁殖	常緑木	摘 要	
	挿木—春	期法	灌		
	春	開花期	水		
	桃・白	花	色		
	一尺—一尺五寸	草	丈		
	切鉢	用	途		
	花植				

挿木により繁殖し、春先の花として黒葯エリカ、夏咲として蘇國エリカを栽培すればよい。用土は鹿沼土がよくサツキと同様に處理すれば充分である。蘇國エリカの如きは濕地を好むから多濕ならしめて培養すべきである。

カーネーション (普通温室栽培花卉類)

カーネーション
(石竹科)

英名又は學名
ダリアンサス

カーネーション
(學)

和名
撫子

原産地
歐洲

花言葉
婦人の愛情 (總稱)



こしてなうこやじ

特性	説明及類似植物	摘
性	莖の下部は稍木質を帯び草性撫子に似て白緑色を呈し花は一重八重ありて花色多く花丈夫にして芳香あり。	切花用花卉として營利的に栽培するもの多し。冬期の温室は六十度内外を可とす

栽培要點	挿木	繁殖	開花期	花色	草丈	用途
一、挿木法は銀砂(シルバースンド)を用ふるを最適とするも普通砂にても可なり。 二、肥料は腐葉土、腐熟堆肥を主とし少量を混す。 三、定植の時期は五月下旬より七月末迄を最適とす。 四、定植には充分なるものを選び用ふること、定植後は日覆ひを用ひず灌水、通風光線を充分ならしめること。 五、針金を環にして柄を付けた中耕器を使用し表土を浅く搔き中耕と除草を兼ねて行ひ適當の時に支柱立をすること。 六、ニコチンスプレーを一ヶ月に一回必ず行ひ病蟲害驅除に努めること。 七、花梗を抽出する頃になれば中央の太い花梗を残し葉腋の花梗は摘除すること、尙蕾は中央一箇を残し腋の小さなものは搔き取ること。	冬—夏	開花期	各色	二尺	鉢地作り花	

一、挿木法は銀砂(シルバースンド)を用ふるを最適とするも普通砂にても可なり。
二、肥料は腐葉土、腐熟堆肥を主とし少量を混す。
三、定植の時期は五月下旬より七月末迄を最適とす。
四、定植には充分なるものを選び用ふること、定植後は日覆ひを用ひず灌水、通風光線を充分ならしめること。
五、針金を環にして柄を付けた中耕器を使用し表土を浅く搔き中耕と除草を兼ねて行ひ適當の時に支柱立をすること。
六、ニコチンスプレーを一ヶ月に一回必ず行ひ病蟲害驅除に努めること。
七、花梗を抽出する頃になれば中央の太い花梗を残し葉腋の花梗は摘除すること、尙蕾は中央一箇を残し腋の小さなものは搔き取ること。

カラ
(天南星科)

英名又は學名
リチャー

カラリリリ
(學)

和名
芋

原産地
歐洲

花言葉
謹厳・熱情



ゆいか

特性	説明及類似植物	摘
性	莖は塊状をなし、葉は里芋に似てそれより細長し、花は肉穂状にて喇叭形の苞にて包まる。花色に各色葉に斑入のものあり。	有毒植物の一つなり。

栽培要點	分球	繁殖	開花期	花色	草丈	用途
一、湿地を好み乾地を忌む。 二、用土は腐植土を用ふ。	春秋—	分球	春—夏	白・黄・紅	二尺—三尺	鉢地作り花

カラ
(普通温室栽培花卉類)

カラデユーム (普通温室栽培花卉類)

カラデユーム

(天南星科)

英名又は學名

カラデユーム

(學)

和名

錦葉

原産地

南

花言葉

喜



もいは

芋芋 米 び

特性	塊根	葉は里芋に似て肉薄く稍狭長矢の根形をなす葉に各色の斑點を現はし千變萬能なり。	派手なる模様透過る浴衣地の様なる觀あるものである。
性	說明及類似植物		
繁殖	分球(春)	開花期	花色
播種	春植	夏-秋	葉: 各色
栽培	要點	草丈	一尺-二尺
摘	要	用途	鉢植

一、腐葉土或はピートの如き腐植質土と壤土とを等分に混和し更に約二割の稍粗い川砂を加へて用ふ。
 二、油粕の腐汁に少量の過燐酸石灰を混じりて稀薄し一週間乃至十日毎に與ふべし。
 三、カラデユームの發芽温度は六十五度以上、植付の鉢は球根の直径一寸乃至二寸、三分の四、五寸鉢に一球とし、六分乃至七分の程度にて土の蔽はれるをよしとす。
 四、植付の深さは球根の上へ五、六分乃至七分の程度にて土の蔽はれるをよしとす。
 五、半陰地に栽培し植付當初は灌水を稍控へ目にし、盛夏の高温になるに従つて量を増すべし。
 六、冬季は灌水を控へ目とす。
 七、カラデユームの最低温度は五十五度なり。
 八、比較的整形にして小形なる球根は優良品なり。

カルセオラリヤ

(玄參科)

英名又は學名

カルセオラリヤ

(學)

和名

きんちやくさう

原産地

南米 智利

花言葉

貴方に私は物質

上の援助が出来

ます



うさくやちんぎ

特性	多年性	葉は對生又は輪性にして單葉又は羽狀復葉なり。花は不規則なる聚繖花序をなし花冠は整形なり。花冠は二分し上唇は小さくして下唇は膨大してスリツパ状をなす。	花は奇觀を呈し花色多し。
性	說明及類似植物		
繁殖	分球	開花期	花色
播種	夏	春-夏	黄・橙・紋り 其他各色
栽培	要點	草丈	五寸-一尺
摘	要	用途	鉢植

一、育苗はフレームにて行ひ花蕾を見る頃に温室に入れる、本植物は低温室栽培適當なり。
 二、播種用土は腐葉土を主とし、これに壤土及び川砂を加へ五厘目の土篩を通した膨軟なるものを用ふ。
 三、發芽後最初の移植をなしたる當時は灌水日照等の管理に細心の注意を拂ふべし。
 四、本葉數枚出でたる頃三寸鉢に一本宛植出す。三寸鉢に移植する頃には室内の通風をよくし、活着したるものに對しては稀薄なる油粕汁を一週間に一回位施すこと。
 五、四寸鉢に移す際には腐壤土の外に川砂を多く用ひ尙温室の醸熱物の腐熟したものや骨粉を多少施用すべし。
 六、蚜蟲の發生を防止すべし。

カルセオラリヤ

(普通温室栽培花卉類)

グロキシニア (普通温室栽培花卉類)

グロキシニア

(苦苣苔科)

英名又は學名

シンニンギア

和名

おほいはいはら

原産地

南米ブラジル

花言葉

華美なスタイル



うさりぎはいはら

球根	特性	説明及類似植物	摘	要
葉はビロードの如く厚くして絨毛を有し大花柄長く花は長き花梗上に大なる鐘状の花を着け花色多し			夏秋の温室花卉として濃艶なるものなり。	

繁殖	分球	播種	挿芽	挿葉
繁殖	春	春	春	春
期法	開花期	草色	草丈	用途
開花期	夏-秋	白・紅・黄・紫・絞・各色	五寸-八寸	鉢植

栽培要點

一、播種後二、三回移植し手入よろしければ年内に開花するも翌年開花するもの多し。
 二、灌水は葉に掛らざる様注意すること。
 三、用土は腐葉土、壤土、砂を用ひ、覆土は浅くすること。
 四、肥料は芽の充分伸びた頃に見計ひ、十日に一回の割合に魚肥又は油粕の腐汁、或は肥料などを薄くして施すべし、初めの間は成るべく葉を作る目的で油粕の様な窒素肥料を施し、葉が出揃ひ葉間に蓄の見える頃蓄を養成する意味で燐酸分を含む魚肥又は人糞尿を施すべし。
 五、花蕾が出初めたる頃は室内温度が高過ぎぬよう日中は天窗又は横窓を少し開き通風をよくし、弱い光線に當るべし。

クレロデン

(馬鞭草科)

英名又は學名

クレロデン

ドロン

クローリイ

ツリー (英)

和名

げんべいくさぎ

原産地

熱帯亞弗利加

花言葉

彼方の幸福を祈つて居ります



ぎさくいべんげ

特性	説明及類似植物	摘	要
蔓性	葉は長卵楕圓形本花の蔓は白色にして基部膨大し先端狭くして花弁は紅色萼外に出で紅白の色彩を呈し美なり。	花は奇觀なり。	

繁殖	挿木	開花期	花色	草丈	用途
繁殖	春	春-夏	白・中・紅	一尺-六尺	鉢植

栽培要點

挿木で繁殖出來培養も至つて容易である。挿木は二、三月頃温室内の挿芽床に二寸位に切つた若枝を挿し挿土を固くして置く時はよく鉢に排水する。少し固すぎるとはす方が活率が良い。翌年の夏には五寸鉢にて開花する。折々剪定を行ひ樹形を整へる時はその方がより開花し、翌年の夏には五寸鉢にて開花する。折々剪定を行ひ樹形を整へる時は大事である。冬季の温度も左迄高温でなく越冬せしむる事が出来る。即ち四十度乃至五十大度を保ち得るならば充分である。

クレロデンドロン (普通温室栽培花卉類)

サンセイベリア (普通温室栽培花卉類)

サンセイベリア

(百合科)

英名又は學名
サンセイベリア

和名

とらのをらん
ちとせらん
たいわんおもと

原産地

東亞
弗利
印度
加度



んらせとち

特性	多年生	観葉	葉は多肉長大にして立性綠色地に白色波縞を現はすもの普通にして他の斑點を現はす變種あり。	摘	夏の室内裝飾によし。
性	説明及類似植物	状態			
栽培要點	繁殖期法	観葉期	花	草丈	用途
	株分春	四季	色	二尺	鉢植

栽培要點	高湿度を好み乾燥に耐ゆる性質を持つ故に乾燥に對する準備は充分である。むしろ時として多濕の爲めに全株腐敗する事がある。冬は灌水せず乾燥させて置けば可成り低温でも保持せしむる事が出来る。葉挿しは冬に挿し高湿度の室内に置く時は容易に増殖が出来る。冬季の温度は華氏六十度から七十度程度に保つ時は五十度乃至四十度位でも差支へなし。
------	--

シクラメン

(サイクラメン)

(櫻荳科)

英名又は學名

サウ・フレット (英)

和名

かがりびばな
ぶたの
まんどゆう

原産地

波
カウカサス

花言葉

猜疑・嫉妬・疑
惑(總稱)
淡色(理解)
赤花(合理的)
白花(暖い心の)
持主

シクラメン (普通温室栽培花卉類)

特性	球根	多年生	莖は通常直径一、二寸許の扁球形をなし其の下部は地中に存在し葉は心臟形にして長き葉柄を具へ下面紅紫色を呈す。此の葉の間より高さ三、四寸許の花莖數箇を抽出し各頂端に紅紫色を呈する異形の合瓣花を一箇宛着生す。	摘	容姿端麗氣品高く鉢植花卉として栽培するもの多し。營利的栽培に適す。地下莖は豚の飼料に供す。
性	説明及類似植物	状態			
栽培要點	繁殖期法	開花期	花色	草丈	用途
	分球	冬春	紅・白・紫	一尺	鉢植



らゆぢんまのたぶ



ゲンラドンエウ・スプーカトプレトス

栽培要点

レキシ種は此の種である。生法は大略として、種を採取し、播種する。秋に播種し、翌年春に開花する。この種は、葉が厚く、花が小さく、香気がある。栽培には、日光を好むが、直射日光を避ける。水は、土が乾いたら澆水する。肥料は、開花前には、液肥を施す。繁殖は、挿し木や葉挿しで行う。この種は、室内で栽培するが、冬は、5℃以上を維持する必要がある。葉は、革質で、光沢がある。花は、筒状で、5裂する。葉は、互生し、卵形から楕円形になる。葉の縁は、波状になる。葉の裏面は、毛茸がある。この種は、観賞用として栽培される。葉の香気は、甘い。花の香気は、強い。この種は、室内で栽培するが、冬は、5℃以上を維持する必要がある。葉は、革質で、光沢がある。花は、筒状で、5裂する。葉は、互生し、卵形から楕円形になる。葉の縁は、波状になる。葉の裏面は、毛茸がある。この種は、観賞用として栽培される。葉の香気は、甘い。花の香気は、強い。

ヂヤスミニウム

(木犀科)

英名又は學名
ヂヤスミニ

和名

迎春花

原産地

印度

花言葉

幸福・可隣・親切(總稱)
印度産||私は彼方を慕ふ

西班牙産||肉欲

白花||友情
黄花||温情

ヂヤスミニウム (普通温室栽培花卉類)

性 說明 及 類 似 植 物 狀

葉は羽状に排列し、花は盆状花弁は五裂し筒部に於て合生す。芳香を有するもの多し。葉は、卵形から楕円形になる。葉の縁は、波状になる。葉の裏面は、毛茸がある。この種は、観賞用として栽培される。葉の香気は、甘い。花の香気は、強い。

1. 葉は羽状に排列し、花は盆状花弁は五裂し筒部に於て合生す。芳香を有するもの多し。
2. 葉は、卵形から楕円形になる。葉の縁は、波状になる。葉の裏面は、毛茸がある。
3. 葉は、卵形から楕円形になる。葉の縁は、波状になる。葉の裏面は、毛茸がある。
4. 葉は、卵形から楕円形になる。葉の縁は、波状になる。葉の裏面は、毛茸がある。
5. 葉は、卵形から楕円形になる。葉の縁は、波状になる。葉の裏面は、毛茸がある。
6. 葉は、卵形から楕円形になる。葉の縁は、波状になる。葉の裏面は、毛茸がある。
7. 葉は、卵形から楕円形になる。葉の縁は、波状になる。葉の裏面は、毛茸がある。
8. 葉は、卵形から楕円形になる。葉の縁は、波状になる。葉の裏面は、毛茸がある。



いばうわ

いげそ

挿木—春	繁殖期法	開花期	花色	草丈	用途
		冬—春	黄白	二尺—四尺	鉢植

栽培要点

素馨の盆栽法は腐葉土と砂とを混じつたものを用ひ毎年植を換ふ。春から夏の間肥すれば充分である。冬季温室中に保護す。又温室中のみで栽培したるものを夏のみに主とするものである。生育が非常によい。尤も此の場合には所謂鉢植の場合で花

ネフロレピス

(陰花植物)
(羊齒類)
水龍骨科

英名又は學名
メイデン
ヘアー

和名
たましだ

原産地
亞熱帯



だしまた

株分—春夏秋	繁殖期法	観葉	多年生	特性	性 状
四季	観葉期	葉色	草丈	用途	
一尺—三尺	鉢植				

葉は羽状にして全邊なるもの缺刻あるもの等あり。
 1. ネ・マルデフオリア(たましだ)葉の長さ一、二尺密に着生し、羽状複葉をなす、この種は塊根を有す。
 2. ネ・ドツノイ葉は總狀に叢生し葉より第二の小葉を出す、塊根を有す。
 3. ネ・エキセルタタ(つるぎしだ)葉は七、八寸、葉は一、二尺の長さにして羽状をなし密生して先端尖り全邊又は僅かに鋸齒を有す、纖維根をなす。
 4. ネ・アキウタ(ほうびくわんじゆ)葉は二、三尺莖は短かし、小葉は全邊又は僅かに鋸齒あり、纖維根を有す。
 5. ネ・ダバアリオイデス葉は垂下する性あり、長さ二、三尺にして小葉は狭く深裂す、纖維根を有す。
 6. ネ・ポストニエンシス(ポストンしだ)葉は二、三尺にして小葉は

ハイドラランゲア (普通温室栽培花卉類)

ハイドラランゲア

(ヒードランゲア)

(虎耳草科)

英名又は學名

ハイドラランゲア

(學)

和名

せいよう

あじさい

原産地

支那及び本邦

花言葉

白色||移り氣

空色||貴方は冷

淡です

桃色||乙女の夢



いさじあうよいせ

特性	性	説明及類似植物	摘
落葉	性	莖高さ三六尺に達し、葉は大形の楕圓形若しくは卵形にして厚く、縁に鋸齒を有し、短き葉柄によりて對生す。大形の球状の花を呈する。花は多数集りて、大形の花	摘
灌木	性	花は萼片の變形せるものなり。大形の花	摘
株分	繁殖法	開花期	草丈
挿木	春秋	春-夏	三尺-六尺
繁殖	開花期	花	用途
株分	開花期	淡紅・紫碧	花切鉢
挿木	開花期	黄	壇花植

挿木をするには小指位の枝に二、三芽を付けて切り取り、二、三芽を土中に埋め、一芽を地上に出す様にする。花を翌春鉢に上げて、生育中は十分に切り詰め、それから發芽したものに花を咲かせる。但し鉢植の場合には餘程日光に當るも差支へなし。



いさじあ

ヒビスカス

(錦葵科)

英名又は學名

ヒビスカス(學)

ローズ

マロー(英)

マロシユ

マロー(英)

和名

ふつそらげ

原産地

本邦及支那

花言葉

微妙の美しさ



げうそつぷ

ヒビスカス (普通温室栽培花卉類)

特性	性	説明及類似植物	摘
常緑	性	莖は高さ二、三尺に達し、葉は卵形にして先端に鋸齒を有す。夏秋の候に葉を落す。花は後球状をなせる蒴果を結ぶ。	摘
灌木	性	花は後球状をなせる蒴果を結ぶ。	摘
繁殖	繁殖法	開花期	草丈
挿木	開花期	春-夏	二尺-三尺
繁殖	開花期	花	用途
挿木	開花期	黄・紅・白赤	鉢花
繁殖	開花期	黄・紅・白赤	壇植

春に挿したものは其年に花を持つ位成長も早く、丈夫にして栽培容易である。しかし鉢物として相當の樹形を必要とする。一日で花は開き、その後は凋落する。用土は荒木田に砂と普通の壤土を混ぜたものがよい。管理は赤土の塊を鉢底に入れるとよい。

プリムラ (普通温室栽培花卉類)

プリムラ

(櫻草科)

英名又は學名

プリムローズ

プリムラ (英)

和名

さくらさう
翠蘭花

自生地

本邦山野に自生す

花言葉

少年時代の希望

悲痛・悲哀

白花 || 可愛らし

赤花 || 自身が打

黄花 || 運命

淡紫花 || 確實

る

特性

多年生

性

説明

及類

似植

物状

種類多く花色又多し。
1. 九輪草(ア・ジャポニカ) || 日本種で葉は長大楕圓葉面に皺多く鋸齒あり毛茸なし。花徑一尺位にして幾層にもなつて花を輪生す。赤花白花等あり、開花期五月、六月。
2. 寒櫻草(ア・シネンシス) || 支那種で葉は長大長き葉柄を有し心臓形をなすも深刻深し、鋸齒を有し毛茸あり、花は大形にして綴形花序をなす、一重、八重等あり、冬期温室にて栽培す(花色種々あり)。
3. 四季咲櫻草(ア・オアゴニカ) || 支那種にして葉は心臓楕圓形、長柄あり、毛茸特によく綴形花序をなす、花は小形であるが改良種には大花もあり(花色紅・白・紫)。
4. 西洋櫻草(ア・ホリアンサス) || 葉は圓皺多く葉柄なく鋸齒あり。花は綴形花序をなし開花し、花は黄色又は赤色にして堪寒性強く株分けして繁殖す。
5. ブルガリス(一名ア・ア・リース) || 葉は前種に類するも花は一箇宛生ず、開花期四月にして淡黄色を普通とすれども各種あり。毛茸多し、花は盞状にして同方面に垂下す。黄色花にして小なり。芳香を有す、花期四月、五月(各種あり)。
6. フォーシナリス(一名ア・ベリス) || 葉は前種に類するも狭く形にして鋸齒あり。花莖には數段をなして花を輪生す、葉は小心臓形にして鋸齒あり。花莖には數段をなして花は櫻に似て四月頃開花す、變種多し。
7. シーポルデイ || 日本種にして芳香を有す。(各種あり)。
8. 花なり、淡紅色を呈す。
9. マラコイデス || 前種に類するも稍大にして開花期早し。
10. キュートンシス || 葉は楕圓筒形をなし鋸齒を有す、葉色黄緑色にして白粉を装ふ、花莖には數段となり開花し、花は筒状部長し、花序をなす、葉は卵圓葉柄肉厚し、葉面平滑僅かに鋸齒あり、繖形花序をなし黄色は卵圓葉柄肉厚し、葉面平滑僅かに鋸齒あり、種多し、シポルデイ || 日本種にして花は櫻に似て四月頃開花す、變種多し。



うさらくさ

繁殖法	開花期	花色	草丈	用途
繁殖法 播種六月・七月 株分秋	開花期 冬—春	花色 各種	草丈 六寸—一尺	用途 切鉢花植

栽培要點

一、播種は取播するを可とす、乾燥したる種子は發芽不良なり。
二、發芽困難なるものをなれば播種せし鉢は鉢底を水中に浸し灌水するをよしとす。
三、用土は腐葉土砂を用ふ、播種後一週間位ひ經てから十日目位毎日油粕の腐熟したものを三倍位に稀めて施肥すべし。
四、肥料は移植後一週間位ひ經てから十日目位毎日油粕の腐熟したものを三倍位に稀めて施肥すべし。
五、温室適温六〇度内外。
六、冬春の温室花卉にして栽培せらるゝこと多く營利的栽培に適す。

プリムラ

(普通温室栽培花卉類)

ブラチセリウム

普通温室栽培花卉類

ブラチセリウム

(陰花植物類)
羊齒科
水龍骨科

英名又は學名

ブラチセリウム

和名

かうもりらん
鹿子羊齒



らんりもろか

特性	性	説明及類似植物	摘
観葉	葉	葉は常緑にして長形全邊披針狀を呈す、多くは上部に於て二・三箇の深裂刻を有す、其形鹿角に似たり、一部は扁平褐色を呈し、根物を包被す、其形蝙蝠の翼を伸したる如く他物に附着して養液を吸収す。	畸形なる葉を以て賞用さる。

繁殖法	観葉期	葉色	草丈	用途
繁殖法 孢子春	観葉期	葉色	草丈	用途
株分	四季	緑葉	五寸—二尺	

栽培要点

一、水苔又はヘゴ植とするを可とす。
二、温度は六、七十度を適當とす。

フリージア

(鳶尾科)

英名又は學名

フリージア(學)

和名

あさぎすゐせん
香雪蘭
あやめすいせん

原産地

喜望峯
亞弗利加

花言葉

清香・無邪氣



アジャーリフ

特性	性	説明及類似植物	摘
球根性	球根性	葉は劍狀にして平行脈を有し、二縱列に排列す。この葉はあやめ等の葉に比し、質稍柔軟なるものとす。葉の間より花莖を出し、唇形をなせる白色の花被を具へ、皆上向きなり。	芳香を有し、清楚なる観あり。

繁殖法	開花期	花色	草丈	用途
繁殖法 秋春	開花期	花色	草丈	用途
株分	冬—春	紅・紫・橙・黄・杏色	一尺—一尺五寸	
			切鉢	花植

フリージア (普通温室栽培花卉類)

ブーゲンベリア

(紫茉莉科)

英名又は學名
ブーゲンベリア

和名
はないかだ

原産地
南米ブラジル



はないかだ

特性	性	説明及類似植物
稍蔓性	性	灌木状を呈し葉腋には小針あり、葉は互生し卵形全縁にして先端尖り一見おしろい苞は卵形にしたりして紫紅色を呈し花の如くして美なり。

繁殖期法	開花期	花色	草丈	用途
挿木・春	春・夏	紫・紅	一尺―六尺	切鉢花植

栽培要点
 温室で挿木を行ふには二月より四月頃までの間に挿す。好結果を得ることは出づる。挿木は成可く短く剪り、根腐れを防止す。土は排水を良くし、乾燥しすぎぬ。追肥で培養す。

ペラルゴニウム

(牻牛兒科)

英名又は學名
ストロクスビル

和名
天竺葵

原産地
南亞弗利加

花言葉
決心(總稱)

斑入葉 友人の
濃色の葉 悲痛
赤花 安樂・憂

第一類	第二類	第三類	第四類
ゾーナル種 (紋天竺葵)	アイビー リーブド種	フアンシイ 種	オリーブ 種
品種	品種	品種	品種
1. ペ・ゾーナル 葉は心臓形、莖は よりなる。花は 丹頂の如く、葉 の縁に紅環あり、 葉は肉質多漿性、 花は五裂片あり、 花色多し。	2. ペ・インク 花は廣倒卵形、 葉は心臓形、莖は 赤色、葉は肉質多 漿性にして多漿な らば、葉は縁邊數 箇に裂片あり、花 は五裂片あり、花 色多し。	3. ペ・ホルトル 花は倒卵形、葉は 心臓形、莖は赤色、 葉は肉質多漿性、 花は五裂片あり、 花色多し。	1. 斑頭鋸齒あり、 葉は心臓形、莖は 赤色、葉は肉質多 漿性にして多漿な らば、葉は縁邊數 箇に裂片あり、花 は五裂片あり、花 色多し。

アブチロン (特種温室栽培花卉類)

アブチロン

(錦葵科)

英名又は學名

アラウリグ

アラウリグ

アラウリグ

アラウリグ

アラウリグ

アラウリグ

アラウリグ

アラウリグ

アラウリグ

アラウリグ

アラウリグ

アラウリグ

アラウリグ

アラウリグ

アラウリグ

アラウリグ

アラウリグ

アラウリグ

アラウリグ

アラウリグ

アラウリグ

アラウリグ

アラウリグ



くばりつきろ

花言葉
推斷観測・尊敬

原産地

ブラジル

和名

うきつりぼく

しまいちび

きりあさし

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

ブラジル

原産地

特性	説明及類似植物	摘	栽培要点		株分—春	繁殖期法	観葉期	花色	草丈	用途
			性	状						
常緑	常緑の小灌木にて葉は長卵形にして先端尖り基部心臓形をなし夏に大形の美花を梢上方に腋生し花冠は雄蕊は花冠外に突出する。	夏は簑下にて栽培す。	挿木—春	挿木—春	四季	観葉期	花	草丈	鉢植	
観葉	観葉植物	室内裝飾樹として美なり。	夏	紅・紫・黄	二尺—六尺	観葉期	花	草丈	鉢植	
観葉	観葉植物	室内裝飾樹として美なり。	夏	紅・紫・黄	二尺—六尺	観葉期	花	草丈	鉢植	
観葉	観葉植物	室内裝飾樹として美なり。	夏	紅・紫・黄	二尺—六尺	観葉期	花	草丈	鉢植	

アレカ (特種温室栽培花卉類)

アレカ

(棕櫚科)

英名又は學名

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

クリサリド

實生は比較的發育早く三年で一尺五寸餘りとなり六、七年にして一、二本の分蘖をす
育良好なり。冬の温度は華氏五十五度を要し夏は七十五度—八十五度位がよく、高温程發
蔭に慣らして用ふ。夏は室外で蔭簑一枚位の半日蔭下に置く様にす。室内に使ふには半日

パンダナス (特種温室栽培花卉類)

パンダナス

(榮蘭科)

英名又は學名
スクリウバイン

和名
りたこの

原産地
邦

本邦



きのこた

特性	常緑	觀葉	繁殖		株分	播種	栽	培	要	點	摘	要
			期法	期法								
性	葉	緑	秋	春	株分	播種	栽	培	要	點	摘	要
說明及類似植物	名の如く根が數本出で、章魚の立てるが如き状態を呈す。鋸齒は極めて鋭し、斑入葉細葉種等あり。		四季	四季	四季	四季	四季	四季	四季	四季	四季	四季
状態			花	花	花	花	花	花	花	花	花	花
草丈			二尺—三尺	二尺—三尺	二尺—三尺	二尺—三尺	二尺—三尺	二尺—三尺	二尺—三尺	二尺—三尺	二尺—三尺	二尺—三尺
用途			鉢植	鉢植	鉢植	鉢植	鉢植	鉢植	鉢植	鉢植	鉢植	鉢植

フエニツクス

(棕櫚科)

英名又は學名
フエニツクス

和名
せんしようぼく

原産地
埃及

埃及

特性	常緑	喬木	觀葉	繁殖		株分	播種	栽	培	要	點	摘	要
				期法	期法								
性	葉	木	緑	秋	春	株分	播種	栽	培	要	點	摘	要
說明及類似植物	喬木又は灌木性にて幹は枝を出す事無く幹の表面は滑らかな葉は菱形の葉柄に多數の葉の基部は披針形に五角形又は掌状である。葉柄の基部は披針形に五角形又は掌状である。葉柄の基部は披針形に五角形又は掌状である。葉柄の基部は披針形に五角形又は掌状である。			四季	四季	四季	四季	四季	四季	四季	四季	四季	四季
状態				花	花	花	花	花	花	花	花	花	花
草丈				二尺—三尺	二尺—三尺	二尺—三尺	二尺—三尺	二尺—三尺	二尺—三尺	二尺—三尺	二尺—三尺	二尺—三尺	二尺—三尺
用途				鉢植	鉢植	鉢植	鉢植	鉢植	鉢植	鉢植	鉢植	鉢植	鉢植

フエニツクス (特種温室栽培花卉類)

一、實生法、蒔付の深さは大體粒の高さの一倍半位にて七、八分より一寸間隔が適當である。播種期は採り量の一、二倍の粗い川砂を混じり、五月から九月迄は薄い窒素質の液肥を十日目、肥料、土質、観賞し得る迄の期間に灌水も充分行ふこと。灌水の量は温度に比例して行ふ。

リヅイストナ (特種温室栽培花卉類)

リヅイストナ

(棕櫚科)

英名又は學名 シネンシス(學)

和名

こたがやさばんう

自生地

熱帶亞細亞 オーストラリア

特性 說明及類似植物 性 摘 要

常緑喬木 觀葉植物 概形棕櫚に似て葉は大形掌狀に分裂す、棕櫚と異なる點は葉の裂片の先端本種は尖頭なり。

室内裝飾として美なり。

繁殖期法	繁殖期	花色	草丈	用途
四季	觀葉期	色	三尺―八尺	鉢植
株分―春	播種―春	株分―春	三尺―八尺	鉢植

冬期は温室にて越冬せしむ。栽培法はフェニックスに準ず。

洋蘭類

概説

一、花の需要が多い。洋蘭の栽培は温室の設備が必要であり、加温装置が出来てゐなければ困難である。近來蘭の切花は需要が多い。温室園藝の極致は蘭の栽培である。

花の王 1. 花が美なり。 2. 香気極めて高し。 3. 開花極めて多く千差萬態なり。 4. 種類極めて多く千差萬態なり。 5. 種類極めて多く千差萬態なり。

二、蘭の原産地 蘭類は其多くが熱帶地方の産で、しかも深山幽谷の樹上に寄生し、或は岩上に或は濕地に或は海抜數千尺の高山に成育し、樹間より漏れる日光を受け極めて蔭濕の土地に成育するものが多

三、蘭の根 蘭の根は空氣を非常に好むもので、根部より土中に下す根以外に莖の部分より空氣中に盛に根を下し非常に長くなるものもある。これらの蘭を好氣性蘭と云ひある細菌の寄生により空中より養分を取り生活するものもある。これら

四、蘭の種 蘭の種により其莖は膨大してラッキョウ状を呈するものがある。これは水胞で内部に養分を貯蓄するものがある。これは水胞で内部に養分を貯蓄するものがある。これは水胞で内部に養分を貯蓄するものがある。

蘭 (洋蘭類)

蘭 (洋蘭類)

五、貯蔵してあるものである。葉の多肉なるもの氣根等は莖と同じく養分を貯蔵する。

1 温度の栽培管理
 2 であるが冬季の夜間温度は最低五度を下してはならぬ。
 3 乾燥に保つ。原産地の状態を考へても判る様に蘭は一般に直射光線を忌むものであるから夏は日除をなし冬日の光線には當てゝも支障はない。
 4 通氣は特に夏は冷涼に保つ爲め窓を全開し其他の時期でも冷たい風以外は温度の許す限り通氣を計らねばならぬ。
 5 植込材料は木炭粉、水苔、(近畿地方の山中に生ずる水苔で生きて居るもの) 羊齒根(オスマンドルト) 木炭粉、ビート、ヘゴ屑、等を用意し地生蘭は腐葉土、砂壤土、水苔等を用ふ。
 6 鉢植は、素焼鉢を用ひ、氣生蘭は澤山穴のある特別の蘭鉢、木框等を用ふ。
 7 植方、地生蘭は鉢底に瓦片其上に木炭粉を入れ三分の一位となし腐葉土及瓦片を入れ根を充分擴げて植ふる。
 8 氣生蘭は三分の一位の被ひ鉢縁より高く保つ。
 9 休眠時期は花後に次の油粕の液肥を用ふる迄一ヶ月である。
 10 肥料は地生種は時々油粕の液肥を用ふるも氣生種は必要なし。

デンドロビウム

(石斛屬)

英名又は學名

デンドロビウム

和名

せきこく

おほばなせきこ

くきばなせきこ

くきばなせきこ

繁殖地

印度・濠洲

支那・日本

比律賓



くきせ

デンドロビウム

(洋蘭類)

特性	性	状態	摘	要点
氣性 空中に生ずる	種類多く各形態を異にせるも莖は竹に似て多數の節を有し葉は楕圓形披針狀で(種類により莖の形は如く細きもの、太きもの、立性のもの、倒臥性のもの、葉の細きもの、花は房狀をなし垂下するもの、花色に紫、紅、白、黄、芳香を有するもの、花は房狀をなし垂下するもの、紅花石斛)	種類多し、莖は竹に似て多數の節を有し葉は楕圓形披針狀で(種類により莖の形は如く細きもの、太きもの、立性のもの、倒臥性のもの、葉の細きもの、花は房狀をなし垂下するもの、花色に紫、紅、白、黄、芳香を有するもの、花は房狀をなし垂下するもの、紅花石斛)	種類多し、莖は竹に似て多數の節を有し葉は楕圓形披針狀で(種類により莖の形は如く細きもの、太きもの、立性のもの、倒臥性のもの、葉の細きもの、花は房狀をなし垂下するもの、花色に紫、紅、白、黄、芳香を有するもの、花は房狀をなし垂下するもの、紅花石斛)	高温室 冬夜 六五—七〇度 冬晝 七〇—七五度 (熱帯産のもの)
適温	難栽培	材植	灌水、撒水、光線、通氣	一、成長期には灌水撒水を充分行ふこと 二、光線及通氣を充分ならしむること
繁殖法	及	栽培	要点	一、繁殖は株分を主とするが莖上に自然に出る小植物を餘り長くならない中に切り採つて育てる。 二、古莖を切り横臥せしめ水苔を覆ひ温度を高め幼植物を生ぜしむ。 三、植替は三年に一回位行ふ。 四、肥料は油粕のよく腐熟したるものを極稀薄にして施水の替りとして一週間或は十日に一回位施せばよい。

カラシセ

(蝦夷根類)

英名又は學名

カラシセ(學)

和名

きりしまえび
きんせいび
とくせいび
なつえび
さるめんえび
りうきうえび
ねねねね

繁殖地

日本・支那
馬來・濠洲
西馬・印シ
メキ



ねびえんめるさ

特性	地生
性	球莖は球莖にして飄蕪形をなし縊り目の上部は小なり、本種には常緑性と落葉性とあり、落葉性のものが主である。この種は春期前年の花莖より新芽を出し、球莖をこの球莖は薄葉を生じ後黄變落葉して充分成育すると古い球莖は萎縮す。種類多し。
摘	摘
要	要

適	中	難栽	易培	材植	料込	灌水、撒水、光線、通氣
---	---	----	----	----	----	-------------

(中温室)	冬夜 六〇—六五度	冬晝 六五—七〇度	中	粗羊齒(鉢植)	腐葉土	一、日光に充分當てること 二、室内は乾き目をよしとす 三、七月—十月充分灌水
-------	-----------	-----------	---	---------	-----	--

繁殖法	一、新芽を生じたる時新しい培養土に移植すること。 二、培養土は鉢の破片を細くしたもの一分の割合に混じり、腐葉土六分、ビートの粗いものかオスマンダを細切したもの一分の割合に混じり、腐汁か牛糞汁の薄きものを生育期間中一週一回又は十日一回施せば充分である。
-----	--

特性	地生
性	短かい根莖と球莖を具へ葉を其頂から生ず、葉は披針形にして花莖は球莖の基部より生じ十數筒を開く、花は斑紋を生ず、淡紅、白、黄等のあり、唇は柱の起部より直ちに廣潤するを特徴とす、開花期普通三月、四月、種類多し。
摘	摘
要	要

オドントグロツサム

英名又は學名

オドントグロツサム(學)

原産地

メキシコ・中央
亞米利加・西印
度(コロンビ
ア)等の熱帶地
方に自生



ムサツロゲトンドオ

オドントグロツサム(洋蘭類)

特性	地生
性	短かい根莖と球莖を具へ葉を其頂から生ず、葉は披針形にして花莖は球莖の基部より生じ十數筒を開く、花は斑紋を生ず、淡紅、白、黄等のあり、唇は柱の起部より直ちに廣潤するを特徴とす、開花期普通三月、四月、種類多し。
摘	摘
要	要

適	中	難栽	易培	材植	料込	灌水、撒水、光線、通氣
---	---	----	----	----	----	-------------

(低温室)	冬夜 五〇—五五度	冬晝 五五—六〇度	中	羊齒(鉢植)	水苔	一、撒水を充分行ふこと 二、通氣を充分ならしむること 三、夏は光線を全く遮ること (夏は管理に注意を要す)
-------	-----------	-----------	---	--------	----	--

繁殖法	鉢植とした花莖の下垂するものは吊り下げ、初めは冷所に置く。その後、二、三年目に一度、三分を混じり、室内の温度を低くし、光線を遮り、窓は全部開放し、室内には充分撒水すること。根元は少し乾き目とし芽莖などに水滴の溜らぬやうにすべし。
-----	--

ヴァンダ (洋蘭類)

ヴァンダ

英名又は學名
ヴァンダ (學)

原産地
印度地方の高山



ダンアウ

特性	性	状	摘	要
一、繁殖法は株分に依る。 二、氣根の直下より取りを行ふ。 三、氣根を発生すること多し。 四、植込にはオスマンダを主とし水苔を少し混じ鉢の縁より持上る位とす。根を空氣に 五、觸れ易い様にし、排水を良好ならしむこと。 六、十一月より翌年二月頃迄は日覆の必要なく充分に光線に浴せしむべし。	性	状	摘	要
氣生	性	状	摘	要
適	温	難栽	易培	材植
(中温室) 冬夜 六〇—六五度 冬晝 六五—七〇度	中	難栽	易培	材植
				羊齒根 水苔 瓦片 (鉢植)
				一、冬日は日光を充分當てること 二、濕氣は充分ならしむること
				灌水、撒水、光線、通氣

フアレノプシス

(胡蝶蘭屬)

英名又は學名
フアレノプシス

(英)

和名

シルレル胡蝶蘭

原産地

印度 馬來
臺灣



スシブノレアフ

特性	性	状	摘	要
一、氣根を発生すること多し。 二、植込は鉢の三分の二だけ清潔な鉢の破片か木炭を入れ其上に三分の水苔及三 三、病蟲害に侵され易いものであるから常に葉の掃除は勿論葉や新芽に水の溜る事は大 禁物である。	性	状	摘	要
氣生	性	状	摘	要
適	温	難栽	易培	材植
高温室 冬夜 六五—七〇度 冬晝 七〇—七五度	難	難栽	易培	材植
				瓦片、木 炭、水苔 (鉢植)
				一、直射光線を忌む 二、冬季は日光に充分當てること 三、撒水は充分ならしむること 四、通氣はよくすること
				灌水、撒水、光線、通氣

スタンボペア (洋蘭類)

スタンボペア

英名又は學名

スタンボペア (學)

原産地

熱帯アメリカ

特性

性

狀

摘

要

氣生

莖は球莖にして卵形數箇集合し頂端より長柄の披針形葉を出し特異なる花梗が根の下より垂下する種類多し。

花は大形多肉質なり、吊鉢に植ゑ下方より眺むるものとす。

適

温

難栽
易培

材植
料込

灌水、撒水、光線、通氣

(中温室)

冬夜 六〇—六五度
冬晝 六五—七〇度

易

水苔
(吊鉢)

一、濕氣に富める蔭所をよしとす。

繁殖法

及

栽培

培

要

點

中温室に栽培するをよしとす。植込みには孔の澤山明いてあるパン鉢か框植が最もよくヘゴ板又はコルク板の側面に附着せしめるとよい。植込材料は水苔、オスマンダの同量の混合したるものがよい。濕氣を好み強光線は好まないが朝夕は充分に當てた方がよい。生育中は灌水を多くし生長の終ると同時に乾き加減にすると花附きがよい。

シンピデユム

英名又は學名

シンピデユム

和名

しゅんらん
きんりやうへん
かんなら
するがら
そまし
こしま
やしきばら
らんらんらんらん

原産地

日本・支那
シヤム・印度
濠洲・アフリカ



らんゆし

特性

性

狀

摘

要

地生

莖は球莖をなすもの多く常緑にして葉は堅くして狭長なり、根際より叢生す。花は長く花は大形房狀十箇を附し各色あり特異なるは芳香を有す、種類多し。根は太く肉質をなし花形畸形なり。

適

温

難栽
易培

材植
料込

灌水、撒水、光線、通氣

低温室
冬夜 五—六〇度
冬晝 六〇—六五度

易

瓦砂壤
(鉢植)

一、強光線を避け冬日に於ては光線に當てること
二、鉢は大形のものを用し灌水を充分ならしむ

繁殖法

及

栽培

培

要

點

繁殖は株分けと播種の二法がある、株分けは一箇から一年に新らしい一箇を出すものである。かから株分けをするときは、肥料は油粕汁を施す。去り一回は水の替りとし、二、三寸に充分に混合したる。移植の時期は花後新芽のよくオスマンダ混用もよい。混養土は水苔のみでもよく、オスマンダ混用もよい。混じて使用してもよい。

シンピデユム (洋蘭類)

リカステイ

英名又は學名
リカステイ (學)

自生地

熱帶アメリカ
西印度



リネキスーテスカリ

特性	性	状	摘	要
氣生	莖は球莖をなし高さ二、三寸幅一寸餘の扁圓錐形をなし葉は二枚宛頂立して薄く長さ一尺内外春に出で一年後に落葉す。花梗は直伸して苞にて包まれ頂端に大輪の多肉花を單生す。花弁は萼と同形か又は小形にて殆んど開かず中央に突出す。唇瓣は結合雄蕊の基部から出て短かい爪状になる。			

適	温	栽培	培	要
(低温室) 冬夜 冬晝 六〇—六五度	易	腐葉土 水苔 鉢植	灌水、撒水、光線、通氣	一、灌水を充分行ふこと 二、冬の光線には充分當てること 三、夏は冷涼に保つこと

繁殖法及栽培要点

一、植込は鉢縁より高くすること。
二、植込材料は水苔、オスマンダ、水苔、オスマンダの細かい鉢の破片か木炭を混合して使用する。湿度は水苔用にも充分加へるがよい。
三、生育中は水は鉢とも充分加へるがよい。
四、新芽及葉に水が溜ると芽腐及葉斑を生ずる事があるから注意を要す。
五、日光の直射は好まぬが朝夕の弱光線には當てる方がよい。

ミルトニア

英名又は學名
ミルトニア (學)

自生地

熱帯アメリカ

特性

性

状

摘

要

莖は球莖にて密生して生じ其形圓錐形をなし葉は其頂より一、二枚生じ披針形をなす。花莖は球形の底部より抽き出し多數を垂下す。唇瓣大にして其先端二裂するものあり。種類多く花美なり。

適	温	栽培	培	要
(低温室) 冬夜 冬晝 六〇—六六度	易	腐葉土 水苔 鉢植	灌水、撒水、光線、通氣	一、灌水を充分行ふこと 二、冬の光線には充分當てること 三、夏は冷涼に保つこと

繁殖法及栽培要点

取扱は大體に於てオドントグロサムと同様でよい。夏季はオドントグロサム同様冷室に收容するがよい。注意するから日中新芽の強光線を遮へぎると生育後葉に黒色の模様は害度とし伸びきらぬ中に侵されると開花せざる事あり。開花せざる事あり。

肥料は時期は移植を行へば殆んど其の必要なく腐熟した油粕の稀薄な液を生育中數回施すもよい。

カトレア

英名又は學名
カトレア(學)

原産地
南米



ハイシモアレットカ

特性	性	狀	摘	要
半氣性				
適	溫	難栽	材植	灌水、撒水、光線、通氣
(中 溫 室)	易	易培	料込	
				一、日光に充分當てるをよしとす。二、強光線は避けること。三、灌水、撒水は充分行ふこと。通氣も出来る限り行ふこと。

繁殖法	栽培	培	要	點
一、花後株分法による。二、移植は新根の發生を促す。三、植込は餘り大なる鉢は、木炭塊を入れ、その上に水苔を敷き、腐敗の虞れがあるから注意を要す。四、新芽に水の溜るのを防ぎ、排水をよくする。五、害虫の侵入を防止す。六、水苔を喰する際、ピレトロン俗の五倍液で驅除をなす。	易	易培	材植	

七、六、五、四、三、二、一、
 繁殖は株分法による。花後老熟すれば落葉して球莖のみとなすものなり。花謝後行ふも差支へなし。移植は新根の發生を促す。植込は餘り大なる鉢は、木炭塊を入れ、その上に水苔を敷き、腐敗の虞れがあるから注意を要す。新芽に水の溜るのを防ぎ、排水をよくする。害虫の侵入を防止す。水苔を喰する際、ピレトロン俗の五倍液で驅除をなす。

レリア

英名又は學名
レリア(學)

和名
むらさきレリア

原産地
南米



アリレキサラム

特性	性	狀	摘	要
半氣生				
適	溫	難栽	材植	灌水、撒水、光線、通氣
(中 溫 室)	易	易培	料込	
				一、日光に充分當てるをよしとす。二、強光線は避けること。三、灌水、撒水は充分行ふこと。通氣も出来る限り行ふこと。

本種はカトレアに類似するも異なる點は花粉塊が八箇あることである、カトレアは四箇なり、花は前種と共に美大なり。莖は肥大した紡錘形の地上莖を形成す。

栽培法はカトレアと全く同様であるが異なる點はカトレアに於ては生育中稍温度を高めると發育良好なるもレリアに於ては餘り高温に保つと却つて結果不良である。

オンシデウム (洋蘭類)

オンシデウム

英名又は學名
オンシデウム (學)

原産地
熱帯アメリカ

特性	莖は球莖にして葉は其先端より生じ披針形にして平行脈を有す、花穂は球莖上より出で長さ五、六寸穂狀に花をつく。
性	
狀	
摘	
要	

地生	適	温	難栽	易培	材植	料込	灌水・撒水、光線・通氣
	(低温室)		中		水草 (鉢植)		一、撒水を充分行ふこと 二、通氣を充分ならしむること 三、夏は光線を全く遮ること (夏は管理に注意を要す)

繁殖法及栽培要点

植込みにはオスマンダ七分に水苔三分を混じつたものを用ふ。新芽の伸び初める頃移植しその後は二年目まで一度行ふ。温室内は温度の低い所を選び、夏は冷所におくべし。夏季の間の屋根硝子は一枚を少くし、乾き目とし芽莖などに水滴の溜まらぬやうに注意すべし。又誤りて水滴をかけた時は直ちにぬぐひとるべし。

カクタス

(シボニン科)

英名又は學名

バラバリー

カクタス(學)

和名

ささぼつてぼんうら

原産地

墨西哥

分類上の用語

イ、花：仙人掌は

別困難なり。

ハ、刺：ないもの

ハ、刺の變形なり

着點で葉腋に相附

カクタス (仙人掌類)

仙人掌の分類

第一亞科

ペレスキオイデー|| 灌木性にして他の植物と大差なきもの。

第二亞科

扁平團扇形の軒下に栽培さるもの。葉は退化し生長點に米粒狀の退化葉を有し米粒は老成すれば落

第三亞科

金烏帽子... 體圓柱形、寒氣に強く、節片大形、綿毛、芒刺あり。

第一族

體は極めて扁平長さ數尺刺なく毛の如き小刺あり、乾燥に弱く花は扁平漏斗狀にして長きもの多く花色に各色あり美なり。

第二族

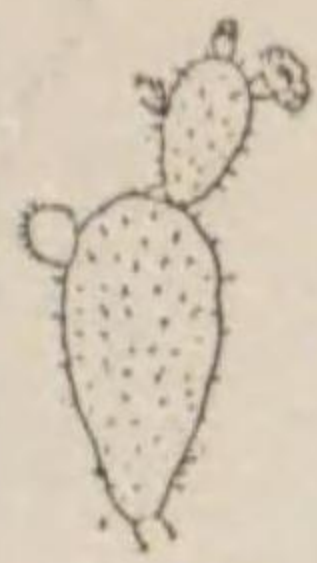
セレウス類(角形棒狀類) 伸長力大、體は角形棒狀にて花は長喇叭狀をなす、俗に稜のあるものを角物、稜のないものを棒物と云ふ。

當す。

ニ、刺の分類

- 1 中刺：刺點の中央より生ぜる特に大形の刺。
- 2 刺：中刺の周圍に簇生する。
- 3 綿毛：刺點より生ぜる柔かい毛。
- 4 細刺：綿毛より細きもの。
- 5 芒刺：短く細き脆き刺に脱き脆き刺に脱落する刺。
- ホ、米點：成長點に生ずる米粒狀の退化葉。

へ、軸部：疣と疣との間(稜と稜との間)を云ふ。



んてばさ

- 1 神代：立性、刺短大、體に横四せる線あり、體に蠟質あり、稜鈍斑入(中刺なく、褐色綿毛あり、稜五乃至七黑色斑あり、枯木として賞用せらる)
- 2 鬼面角：立性、稜銳斑なし(雄大種にして刺を密生し濃褐色針狀たり)
- 3 連城角：立性、蠟なし、四角(刺點密生し刺小にして褐黄色硬からず綿毛多く體頂には刺點簇生す美なり)
- 4 龍神木：立性、體に横凹なし、蠟質あり、七稜(體に白粉を粧ひ頂點に少く下部に多し、刺點小形綿毛白く刺は黒褐短大にして三本あり)
- 5 白雲閣：立性、蠟なし、五稜(新梢には白色綿毛ある刺點密生す、刺三本暗褐色)
- 6 纏：立性、三稜(體の横面三角形刺點稍凸出、刺は小形短かく硬からず頂部に刺點密生す)
- 7 帝國：立性(前者の形にて黄斑あるものを云ふ)
- 8 ライオン：立性、刺毛細長絹様毛あり、毛白絹色八稜(絹毛淡黄刺九箇四方に放射する體頂に絹毛渦巻く)
- 9 ライオン錦：立性(前種の形にて紅刺交ふるもの)
- 10 老樂：立性、二十五稜(絹毛一寸位叢生して白色又は淡黄色なり、美觀を呈す)
- 11 翁丸：立性、刺毛長く硬し(毛刺は一刺點より二〇乃至三〇本生じ光澤あり、長さ四寸に至る)
- 12 翁錦：立性(前種の形にて紅刺を交ふるもの)
- 13 翁錦：垂下性、晝間開花、刺黄色、紅色、雄蕊青。
- 14 銀組：垂下性、刺白花紅、雄蕊青。
- 15 大組：垂下性、夜間開花、開長一尺、花徑一尺、花色白(夜の王とも云ふ)

第三族 エキノプシス類(花盛丸類)

伸長力中にして花は古幹上に生じ長漏斗形をなす。(立性にして夕刻開花す)

第四族 エキノスレウス類(春日類)

伸長力中花は體の兩側に生じ短漏斗狀をなす。(自然に垂下する性あり)

第五族 エキノカクタス類

伸長力小花は刺點上に生ず優良仙人掌類を含む。

- 1 柳玉：高さ幅より大にして横線なく波稜あり(幅狭き皺狀稜多く三十餘あり、刺は扁平、花は數寸の體にて開き紫色を呈す、夏日に現はる)
- 2 黄翁：高さ幅より大にして横線なく波稜あり、直稜にして圓柱形、刺は纖弱(刺點密生中刺三、四長を一寸乃至二寸、刺は美しき黄色をなす)
- 3 山嵐：高さ幅より大にして横線なく波稜あり、圓錐形、刺白強し(體は強大、體頂凹陥せず、新刺は紅色稜數十二、波稜あり、後圓錐形、刺は九紋龍、高さ幅より大にして横線なく波稜あり、中刺黒(刺は黒色硬直にして彎曲して雄大なり、横線長く中刺赤(刺點頂上に多く先端黄色)
- 4 大統龍：高さ幅より大にして横線なく波稜あり、中刺黒(刺は基部鮮紅色美なり)
- 5 藍寶玉：長さ幅より大ならず、直徑と高さ同大、體に白色小點散在す、(稜五箇あり、頂部にて螺旋狀に巻く、花は夏期に生じ黄色なり)
- 6 黄金鯨：高さ幅より大ならず直徑と高さ同大、體に白點なし、刺幅大、黄色にして體綠色(刺の長さ數寸あり、稜數十五箇乃至十七箇刺面に横紋あり)
- 8 龍王：高さ幅より大ならず直徑と高さ同大、刺針狀にして褐色、暗綠



んてばさびへ



んてばさもひ

第六族 マミラリア類 (疣仙人掌)

- 9 赤龍... 直径が高さより大にして疣を有せず、刺扁平強大、稜十三箇内
- 10 刺は透明紫紅色を呈す
- 11 烏羽玉... 直径が高さより大にして疣を有せず、刺なし、綿毛の束あり、
- (體球形稜低く刺點は圓形直径大、花は頂に生ず)
- 銅色粗にして凸凹あり、體頂に白色刺あり、花は數筒體頂に生ず、淡黄なり)
- 1 龍... 軸部に細刺綿毛あり、刺長く捻曲し先端赤色、疣變形 (刺白頗
- 2 長大新刺は先赤疣は初め余米糖狀、古疣は菱形となる、花小紫)
- 3 猩々丸... 軸部に細刺あり、刺短多數、先赤 (刺鮮紅美なり、疣は螺旋狀
- 4 花は剛丸... 軸部に細刺あり、刺小數體色緑 (刺點綿毛多く刺は白色先紅、
- 5 紅玉... 軸部に細刺あり、刺直硬く中刺二本 (刺は體を包み
- 6 稍柱状をなす、刺點圓形綿毛あり)
- 7 天司丸... 軸部に細刺あり、刺羽狀柔軟なり (刺點の中央凹陷して全體羽
- 分泌器綠色 (疣は偉大刺は扁平強し、綿毛、分泌器ありて疣に縦線あり、刺褐色、

伸長力小にして花は刺點上に現はれず、疣と疣との間に生ず、容姿端麗刺は繊細美麗なり。



んてばさうば



んてばさにか

- 8 潤田川... 軸部に細刺なし (只前者の黒斑を有するもの)
- 9 譽錦... 軸部に細刺なし (只前者の黄斑を有するもの)
- 10 楊貴妃... 軸部に細刺なし、縦線なし、刺白、分泌器褐色 (分泌器隆起せ
- 11 斜子丸... 軸部に細刺なし、中刺あり、中刺鈎曲刺黄にして小
- (頗る強健、疣は柱状、軸部白又は薄紅、花は多數、黄白)
- 12 高砂丸... 軸部に細刺なく、刺赤色、毛刺あり (縁刺絹狀細く柔軟、中刺紅
- 13 丹頂丸... 軸部に細刺なく、刺毛色大形 (毛刺長し)
- 14 雪月花... 軸部に細刺なく、中刺直、花赤、刺直獨立形をなす (毛は白く花
- は質硬く數日も凋れず、朝開、夕閉、冬期開花す)
- 15 松霞... 軸部に細刺なく、花黄、毛刺、分株す。
- 16 金星... 軸部に細刺なし、疣長大、絹様刺を放射す。
- 17 金牡星... 軸部に細刺なく、疣は葉狀をなす (刺なし、葉狀の疣は一箇の縦線
- あり、牡丹の葉に特異とす)
- 18 金丸... 軸部に細刺なく、體は柱状、刺黄色、花小。
- 19 羽衣丸... 軸部に細刺なく、體球狀、花大、疣よく發育して柱状をなす。
- 20 白斜子... 軸部に細刺なく、疣は槌形、刺櫛形 (刺の頂上に縦溝一本あり、こ
- の溝に沿ひ櫛齒狀刺を有するを特異とす)

繁殖法 仙人掌の繁殖法は種屬に依つて各々異つて居る。他の植物の様に同一方法に依る事が出来ぬものが多い。最も普通に行はれ得るのは挿木と實生であつて、形態上挿木

栽培管理



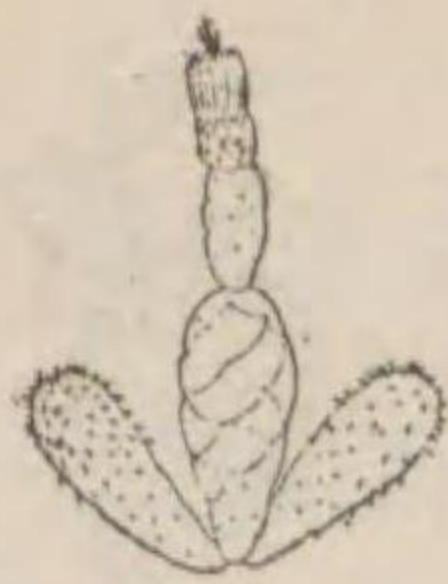
んてぼさは

れは形鞍又ばあで即さで接事に木仙み根接い様の土の
 他砧に接は早る接ちの殆木が價丸用人で活木もな低を出
 種木切は丸い而觸平もんの栽値いの掌無着の鉢温使來
 にのり砧仙もし面らのど方培の球砧のくし玉はに時用得
 は幹穂木人のてのにを仙法上あが木様'な仙春一にする
 あの木が掌は縛離切選人は理る乗はに栽い人に本はて様
 ま中も團等五りれつん掌大想もつ多下培様掌移宛水五に
 り途同扇の'終ぬたでの體的のてく垂品な或植移を'な
 用を様仙楯六つ様砧共み三なで居柱すの種はせ植控六つ
 ひ剝に人圓日たに木にに種方はる仙る根類其ず目分た
 らい切掌形乃な細の水用で法な觀人もが'他秋るに間時
 れでつのが又至らい上平ひ割でいが掌の腐或の迄のす隔第
 な此て様は一ば糸へにら接あ'あがにつは圓置でるに一
 いれ挿な圓週數か接切れ'つ強る用對て綴形いあ事植回
 °に込扁形間日'穂つる鞍ていのひし來化又てるがゑの
 接み平の遅間ヲをて方接'てでら觀て類はもが必る移
 木相なもいはフ乗其法'又行植れ賞放の楯良管要°植
 を離ももの新ヒせので置活ふ物穂上置繁圓い理で夏を
 楔れのをの聞ヤる切あ接着場とは或す殖形°上あ季す
 形ぬ、接で紙のの口らでも合し圓はる法で箱るはる°
 に様場ぐも二様でをうあ速はて形栽時と殆又'適°之
 切に合場十枚なるあ接°るや接あの培はしんは斯當之
 つ前に合餘位もる合其°か穂まも上地てど平くなの
 て同多に日のの°す方其にとりのの上接分鉢し濕時
 挿様い用でもで共る法の且砧自で利部木枝植て氣は播
 込糸°ひ活の幾にのは中つ木然あ便全がすの發を播種
 むで方ら着を重切で砧最容ととるか體行るがのへの時
 も縛法れす上に口'木も易は縁から腐は事好早て時
 のつはるるにもの操と普に同遠ら接敗れ無好都い發と
 でて筐°掛八あ作接通行一く接木枯るす死°い合も育同
 蟹置形之け重まは穂には屬考がす接もあは促な鉢
 仙くののて十り至と行れのへれるす接もあは促な鉢
 人の砧方日文乾極のはるもらた場る木のあは促な鉢
 掌で木法陰字か簡稍れものれ結合様は'翌進鉢
 にあのはとにぬ單同るのを觀果もな獨又'春をに
 のる頂玉し縛内てじので使賞はあ場り挿發今計同
 み°點仙てるにあ位はあ用上棒る合繁木育一り様
 行切を人置の接るの置るすあの°殖での回冬な
 は接楔掌けでい°太接°るま上接蟹の發遅同季用



んてぼさうばてのにか

一護付は然し實も割るしは雨挿くた挿を天然挿は挿どの
 週すと平して生°の合時た春露木新頃木待のし木楯木種出
 間る同箱温は°にには場季の場聞に後つ日砂方圓子來
 か事様で室春實挿多容合五當所紙砂腐のをは法形丸をぬ
 らがに深にが生す濕易は月らは一に敗が選排はの仙得も
 二必行さ依良は方をに如かな温枚挿す必ん水平も人らの
 週要ひはてく發が好發露らい室をする要でを鉢の掌れは
 間で覆二適°育反む根に九場な日の虞で行充平を'ぬ接
 遅あ土寸當發が°つもすて月所ら覆でれあひ分箱除玉も木
 れるは程の芽遅てのる灌中ではと其がる'に又く仙のに
 る°一が温と々好°水にあ結し深あ°切しは他人に依
 事發分良度共と成あ發せてる構てさる殊取て挿の掌對つ
 に芽程くへにし績る根ず他°で置は°につ可床も'して
 なはで用六漸てをか後噴の温あく莖約多た成をの海て居
 る割あ土十次居得ら夫霧時室る此が牛肉後り作は膽はる
 °合るは度外るる'々器期内がの倒日のは乾つ殆仙接°
 普に°壤内氣がも普培でにな'日れ程種半燥てん人木然
 通遅播土外が繁の通養少はら其覆ぬ放類日氣此ど掌'し
 四く種三°昇殖で植土量低ば設は程置は位味れ挿の稀實
 °七後'のるとあ物に宛温週備勿度し切日にに木如に生
 五十は川保爲して°同付氣過行無曇あ水が又つ燥行殆木總
 月度半砂ためて°様けをぎふい天る分稍は事氣ふんをて
 に内日一れ其は°にる與て事場に°が白半が味事ど行に
 蒔外陰の得發興取°へ好が合は挿減く日必のが枝ふ共
 が四し合場もあ°扱りて成出は取終じ乾陰要稍出條場通
 良週てに合順る°水サくをるレくたのす置あいる分がた
 °か芽じ何にの°若り事得が'事な表るいる川°岐あ方
 實、迄た時行で°とスがらフムをら面様て°砂する°に
 生るはもではあ°土'必れレ或忘ばにに切母を°事°て綴
 に°硝のもれる°を仙でいム普てにしつがかれ°の稀化の如き殆ん
 て尙子に差得°等分掌る挿他室な水が後い切挿稀れな圓形又
 指低板普支る普°にの°木の内らす出でてるす
 で温を通無利通°混二斯の場でなる來なるは
 つの被草い益播°じ種く乾所直い事掛いるは
 ま場せ花平が種°たはす燥で接°無けとの晴



くじちいこにべ

質が充分な水分を以て、その生長を促す。土壌の排水性をよくし、水はけを良くする。肥料は、過剰に与えず、適量を与える。乾燥に耐える性質があるため、水やりは控えめにする。日光を好むが、直射日光は避け、半日陰で育てる。繁殖は、挿し木や子株取りで行う。冬は、乾燥した状態を保ち、休眠させる。観賞用の品種は、美しい花を咲かせる。栽培は、比較的簡単で、初心者でも育てやすい。鉢植えでも、地植えでも育てられる。土壌は、砂質土壌を好む。肥料は、緩効性肥料を使用する。水やりは、土が乾いたら行う。冬は、水やりを控える。日光は、朝晩の涼しい時間帯に当てる。繁殖は、挿し木や子株取りで行う。冬は、乾燥した状態を保ち、休眠させる。観賞用の品種は、美しい花を咲かせる。栽培は、比較的簡単で、初心者でも育てやすい。鉢植えでも、地植えでも育てられる。土壌は、砂質土壌を好む。肥料は、緩効性肥料を使用する。水やりは、土が乾いたら行う。冬は、水やりを控える。日光は、朝晩の涼しい時間帯に当てる。



とぶか

蟹の殻のように硬い。生長は遅い。日光を好むが、直射日光は避け、半日陰で育てる。繁殖は、挿し木や子株取りで行う。冬は、乾燥した状態を保ち、休眠させる。観賞用の品種は、美しい花を咲かせる。栽培は、比較的簡単で、初心者でも育てやすい。鉢植えでも、地植えでも育てられる。土壌は、砂質土壌を好む。肥料は、緩効性肥料を使用する。水やりは、土が乾いたら行う。冬は、水やりを控える。日光は、朝晩の涼しい時間帯に当てる。繁殖は、挿し木や子株取りで行う。冬は、乾燥した状態を保ち、休眠させる。観賞用の品種は、美しい花を咲かせる。栽培は、比較的簡単で、初心者でも育てやすい。鉢植えでも、地植えでも育てられる。土壌は、砂質土壌を好む。肥料は、緩効性肥料を使用する。水やりは、土が乾いたら行う。冬は、水やりを控える。日光は、朝晩の涼しい時間帯に当てる。

レッドクローバー.....	40
レデーレノックスピンク.....	128
レデーレノックスホワイト.....	123
レモンゼラニウム.....	242
レモンリリー.....	68
レリア.....	279
レンゲサウ.....	40
レンゲツツジ 羊躑躅.....	215
レンジヤウカク 連城角.....	282

ロ

ロイレイツリフネサウ.....	155
ロエス.....	252
ローザ.....	248
ローズ.....	248
ローズキヤンピオン.....	80
ローズマロー.....	235
ローズモツス.....	166
ローズリリー.....	251
ローダンセ.....	178
ロツスウオルト.....	100
ロドデイドロンクリサンツム.....	251
ロドデイドロンケナースキー.....	251
ロドデイドロンブラチカープム.....	251
ロドデイドロンメツテルニチー.....	251
ロドデードロン.....	251
ロードデンドロン.....	215
ロベリア.....	177
ロベリヤサウ.....	177
ローマンヒヤシンス.....	205
ローン.....	87
ロンドンプライド.....	43

ワ

ワウバイ 迎春花.....	229
ワスレグサ.....	63
ワスレナグサ 勿忘草.....	172
ワットルカツシー.....	253
ワーレンベルギア.....	89

ユリアザミ 百合薊..... 86

ヨ

ヨウキヒ 楊貴姫..... 285
 ヨザキスキレン 夜咲睡蓮..... 90
 ヨシノユリ 吉野百合..... 209
 ヨドガハツツジ..... 215

ラ

ライオン..... 282
 ライオンニシキ..... 282
 ライラック..... 247
 ラウビハクワ 狼尾杷花..... 82
 ラークスパー..... 146
 ラシラス..... 139
 ラツパザキスキセン..... 201
 ラツパバナ 喇叭花..... 65
 ラナンキュラス..... 208
 ラブインアミスト..... 151
 ランカウギク 蘭香菊..... 32
 ランギク 亂菊..... 32
 ランギク 藍菊..... 45
 ランタナ..... 79
 ランホウギョク 藍寶玉..... 283

リ

リグイストナ..... 262
 リウキウエビネ..... 266
 リウキウツツジ..... 215
 リウジンギ 龍神木..... 281
 リウセイ 流星..... 188
 リウセイゲ 龍星花..... 188
 リウヒゲボタン 龍鬚牡丹..... 166
 リウワウ 龍王..... 283
 リカステー..... 274
 リカステスキネリー..... 274

リークニス..... 80
 リースラム..... 82
 リチャー ジャー..... 219
 リナム..... 175
 リナリヤ..... 174
 リバーリフ..... 81
 リボングラス..... 75
 リユウギョク 柳玉..... 283
 リユウボク..... 258
 リユーシダス..... 83
 リリー..... 209
 リリウム..... 209
 リリウムアベナセウム..... 210
 リリウムエレガンス..... 209
 リリウムオーラタム..... 209
 リリウムコオデフオリウム..... 210
 リリウムコンコラル..... 210
 リリウムシペンシオサム..... 209
 リリウムジャポニカム..... 209
 リリウムチグリナム..... 209
 リリウムテニフオリウム..... 210
 リリウムハンソニ..... 210
 リリウムロンギフローラム..... 210
 リリーオブゼバレー..... 191
 リリーオブナイル..... 182
 リンドウ..... 260

ル

ルコウサウ 縷紅草..... 108
 ルドベツキア..... 84
 ルピナス..... 176
 ルービン..... 176
 ルリマガリバナ..... 162

レ

レアトリス..... 86
 レイシユンゲ 麗春花..... 138
 レセダ..... 85
 レッターフラワー..... 126

ム

ムギナデシコ 麥撫子	102
ムギワラギク	165
ムシトリナデシコ 蟲取撫子	135
ムスカリ	206
ムラサキウンラン	174
ムラサキオダマキ	19
ムラサキオモト	252
ムラサキカウシ 紫蒿子	82
ムラサキクンシラン 紫君子蘭	182
ムラサキチンカウゲ 紫丁香花	247
ムラサキツユグサ	55
ムラサキハナニラ	203
ムラサキミゾホホヅキ	149
ムラサキヤシホツツジ	215
ムラサキレリア	279
ムレコテウ 群蝴蝶	141
ムレナデシコ	137
ムーンフラワー	120

メ

メイデンヘアー	231
メキシコスキレン	90
メシヤクナゲ	251
メツセンブリアンセマム	78
メデイカゴ	40
メドギサウ 荖草	22
メラシ	277

モ

モクシユンギク 木春菊	77
モクセイサウ 木犀草	85
モスフロックス	64
モチツツジ	215
モーニンググローリ	110

モミヂアフヒ	61
モンイキシヤ	185
モンキーフラワー	173
モントプレチア	207

ヤ

ヤウアフヒ 洋葵	241
ヤウテフゲ 陽蝶花	157
ヤウラクボタン	54
ヤカウラン 夜香蘭	205
ヤキバラン	271
ヤグルマギク 矢車菊	143
ヤグルマテンニンギク 矢車天人菊	121
ヤクワイグサ 夜會草	120
ヤコビニア	60
ヤタウサウ 箭塔草	97
ヤブクワンサウ 藪萱草	68
ヤヘザキオホハンゴサウ	84
ヤマアラシ 山嵐	283
ヤマカヅラ 山蘿蔔	140
ヤマコナ 山小菜	30
ヤマツツジ	215
ヤマトリカブト	17
ヤマモモサウ 山桃草	33
ヤマユリ 山百合	209
ヤンヂタフト	109

ユ

ユウカゲサウ	120
ユウゲシヤウ 夕化粧	28
ユキノシタ	43
ユキノハナ 雪の雫	194
ユキワリサウ 雪割草	81, 183
ユグロリオサ	88
ユースエンドエツヂ	136
ユフイラメントサ	88
ユフガホ 夕顔	120
ユーホルビア	167
ユリ	209

ヘルメットフラワー.....	17
ヘレボルス.....	70
ペロニカ.....	72
ペロニカスペシオサ.....	72
ペンケイサウ.....	48
ペンテステモン.....	73

ホ

ポア.....	75
ポインセチア.....	167, 246
ホーウエア.....	257
ホウケン 寶劍.....	281
ホウセンクラ 鳳仙花.....	155
ホウビクワンジュ.....	231
ホウライグサ 鳳萊草.....	212
ホウライシダ.....	213
ホウライジュリ 蓬萊寺百合.....	209
ボストンシダ.....	231
ホタルブクロ.....	30
ポーチエツドネメシア.....	153
ポットマリゴールド.....	118
ホテイサウ.....	93
ポテンチルラ.....	76
ホネヨモギ 骨蓬.....	92
ポピー.....	138
ホマレノニシキ.....	285
ポリアンサス.....	199
ポリゴナム.....	74
ホリーホツク.....	23
ポルチユラカ.....	166
ホロカケグサ 母衣掛草.....	93
ボロカヅラ.....	233
ホワイトクローバー.....	40
ポンチツクアザレア.....	215
ホンツツジ.....	215
ポンドリリー.....	90

マ

マガリバナ.....	109
マーガレット.....	77
マクレツ.....	77
マーシユマロー.....	235
マチオラ.....	142
マツガサギク 松笠菊.....	84
マツガスミ 松霞.....	285
マツノユキ.....	194
マツバウド.....	212
マツバカンザシ.....	15
マツバギク 松葉菊.....	78
マツバボタン 松葉牡丹.....	166
マツムシサウ 松蟲草.....	140
マツヨヒグサ.....	28
マトヒ 纏.....	282
マトリカリア.....	169
マヒグサ 舞草.....	138
マリーゴールド.....	168
マンクスフツド.....	17
マンサクサウ 満作草.....	18
マンジュギク 萬壽菊.....	168
マンセイクラ 蔓情花.....	142, 53

ミ

ミオソチース.....	172
ミカーデナリス.....	173
ミスミサウ.....	81
ミゾタデ 溝蓼.....	74
ミソハギ.....	82
ミヅギグ.....	25
ミヅデイフラワー.....	78
ミツデンヘヤーフェーン.....	213
ミツバツツジ.....	215
ミニヨネット.....	85
ミムラス.....	173
ミモサ.....	171
ミヤヒメトラノヲ.....	72
ミラビリス.....	170
ミルテアス.....	173
ミルトニア.....	275

ブラワリングメープル.....	254
フランスギク.....	29
ブランネルサウ.....	80
ブリザ.....	163
フリージア.....	239
フリチラリア.....	202
ブリーディングハート.....	54
プリムラ.....	236
プリムラアコーリス.....	236
プリムラオフィシナリス.....	236
プリムラオブコニカ.....	236
プリムラオリクラ.....	237
プリムラキユウエンシス.....	237
プリムラシネンシス.....	236
プリムラシーボルデー.....	237
プリムラジャポニカ.....	236
プリムラフオーベシー.....	236
プリムラブルガリス.....	236
プリムラベリス.....	236
プリムラポリアンサス.....	236
プリムラマラコイデス.....	237
プリムローズ.....	236
プリューバードフラワー.....	81
プリンセスウエザー.....	101
ブルューベアード.....	32
フレイムンゲルベラ.....	31
プロヂエアー.....	203
フロックス.....	64
フロックスドラモンデー.....	161
フロックスパニユキュラーク.....	64
プロワリア.....	162

ベアースブリーチ.....	16
ヘウユリ 豹百合.....	200
ヘキクワ 辟火.....	48
ベゴニア.....	243
ベゴニアインカルナタ.....	243
ベゴニアインベリアリス.....	243
ベゴニアエビアンシアナ.....	243

ベゴニアオクトペタラ.....	243
ベゴニアクラーケー.....	244
ベゴニアセンパーフローレンス.....	243
ベゴニアダビジ.....	243
ベゴニアドレゲー.....	244
ベゴニアハーデアナー.....	243
ベゴニアフューシオイデス.....	243
ベゴニアフルゲンス.....	244
ベゴニアフレベリー.....	243
ベゴニアベツチ.....	243
ベゴニアホリビエンシス.....	244
ベゴニアラシニアタ.....	244
ベゴニアレツクス.....	244
ベゴニアローセフオリア.....	243
ペチユニア.....	164
ベニクワンサウ 紅萱草.....	63
ベニコンガウ 紅金剛.....	284
ベニスジュリ 紅筋百合.....	209
ベニスダレ.....	73
ベニツツジ 紅躑躅.....	215
ベニバナアマ.....	175
ベニバナインゲン.....	159
ベニハルシヤ.....	128
ベビープリムローズ.....	236
ヘメロカリス.....	68
ペラルゴニウム.....	241
ペラルゴニウムインクイナンス.....	241
ペラルゴニウムオドラシマム.....	241, 242
ペラルゴニウムクエルシフオリウム.....	241
ペラルゴニウムグラビエオレンス.....	241
ペラルゴニウムゾーナル.....	241
ペラルゴニウムトメンスム.....	241
ペラルゴニウムホルトルム.....	241
ペラルゴニウムラゾラ.....	242
ペラルゴニウムリモニウム.....	242
ヘリアンサス.....	134
ヘリオトロープ.....	69
ヘリオブシス.....	71
ヘリクリサム.....	165
ベリス.....	145
ヘリプテラム.....	178
ベルフラワー.....	30

バラ	248
バラバリーフイグ	281
ハリフウテウサウ	125
バルサム	155
ハルシヤギク	127
バンカウギョク 晚香玉	199
ハンゴサウ 返魂草	84
ハンシレン 半支蓮	166
パンダナス	260
パンヂー	157

ヒ

ビアードタンク	73
ヒエンサウ 飛燕草	146
ピオニー	63
ピオニア	63
ヒグルマ 日車	134
ヒゲナデシコ	46
ヒゴギク 肥後菊	36
ヒゴロモサウ	131
ビジョクワ	156
ビジョザクラ 美女櫻	156
ビショツプスハツト	27
ビジョナデシコ	46
ビジンサウ 美人草	138
ヒツジグサ	90
ヒトヘグサ 一重草	65
ヒードランゲア	234
ヒナキキヤウ 雛桔梗	89
ヒナギク 雛菊	145
ヒナゲシ 雛罌粟	138
ヒビスカス	61, 160, 235
ヒビスカスコツシメアス	61
ビーフステイクゼラニウム	243
ヒマワリ 日向葵	134
ヒメウチワ 姫團扇	281
ヒメギリサウ	227
ヒメキンギョサウ 姫金魚草	174
ヒメコテフクラ 姫胡蝶花	181
ヒメタウシヤウブ	207

ヒメトラノヲ	72
ヒメハナシノブ	123
ヒメヒマワリ	134
ヒメムラサキ 姫紫	172
ヒメユリ 姫百合	210
ヒヤウハウサウ 萍蓬草	92
ヒヤクニチサウ 百日草	136
ヒヤシンス	205
ヒューセラ	60
ピレスルム	62

フ

フアレノプシス	269
フィソステジア	67
フィリキバナノミヅホウヅキ	173
フウセンカヅラ 風船葛	122
フウラン 風蘭	272
フエアス	276
フエアリーリリー	195
フエニックス	261
フオアオクロツク	170
フオアゲツトミーナツト	172
フオックスグラブ	52
フキザクラ	226
フクシア	66
フクジュサウ 福壽草	18
フクジンサウ 福神草	18
フクトクサウ 福德草	18
フーゲンベリア	240
フサザキスキセン 房咲水仙	201
フジボタン	54
ブタノマンヂユウ	225
フタマダコゴメナデシコ	137
ブツシカウ 佛指甲	48
ブツソウゲ	235
ブツラ 佛螺	45
フトキ	95
フユサンゴ 冬珊瑚	49
プラチーコドン	65
プラチセリウム	238

ネ

ネフロレピス	231
ネフロレピスアキウタ	231
ネフロレピスエキセルタタ	231
ネフロレピスダバアリオイデス	231
ネフロレピスドツファイ	231
ネフロレピスポストニエンシス	231
ネフロレピスマルデフオリア	231
ネペンテス	259
ネムリグサ	271
ネメシア	153
ネモフィラ	154

ノ

ノウゼンハレン	150
ノコギリサウ 鋸草	22
ノシ 能之	20
ノジゴモ 野茨菰	97
ノットウキード	74
ノボリシヨウブ	188
ノボリバナ	125
ノボリフジ	176

ハ

ハアザミ 葉薊	16
バイオレット	59
ハイドランゲア	234
ハイモ	220
ハウキギ	129
ハウコウスキレン 芳香睡蓮	90
ハウチハマメ	176
ハクウンカク 白雲閣	232
ハクギヨクト 白玉兔	284
ハクセイ 白星	234
ハクテウサウ	33

ハクモウセイ 白毛生	231
ハクヤク 白藥	65
ハクリウ 白龍	234
ハゲイ ウ	101
ハコネシダ	213
ハゴロモ 羽衣	235
ハゴロモギク 羽衣菊	24
ハゴロモサウ 羽衣草	22
ハサボテン	287
ハズ	256
バスキュフラワー	183
パースレン	166
パセオラス	159
ハチマンサウ 八幡草	48
ハツシフローラ	233
ハツシヨンフラワー	233
ハツターカツブ	208
ハツターフライフラワー	141
ハツパウサウ 八寶草	43
ハツパウジ 八寶兒	48
ハートフラワー	54
ハナイカダ	240
ハナウリクサ	149
ハナガサ 花笠	156
ハナカタバミ	186
ハナカンザシ	178
ハナキツネボタン	203
ハナキンポウゲ	203
ハナサフラン 花泪美蘭	190
ハナシヤウブ 花菖蒲	181
ハナタバコ 花煙草	152
ハナニラ	203
ハナハシドイ	247
ハナビシサウ 花菱草	117
バーバタス	46
パパバーポピー	138
パパピアポピー	158
バビアナ	204
パープルベルコバエア	41
バーベナ	156
ハマカンザシ	15
ハマギク 濱菊	53

テ

テイコク 帝國	232
デイセントラ	54
デイフラワー	252
テウロウサウ	148
デジー	145
テツセンバス 鐵線蓮	39
テツポウユリ 鐵砲百合	210
デモフオーセカ	148
テランセラ	147
デリリー	63
デルフイニウム	146
テンジクアフヒ 天竺葵	241
テンジクボタン 天竺牡丹	196
テンシバス 轉子蓮	39
テンシボタン 纏枝牡丹	39
テンシマル 天司丸	284
デンドロビウム	265
テンニンギク 天人菊	121
テンモントウ 天門冬	83

ト

ドイツアヤメ	181
トウキンセン 唐金盞	118
トウシヤウブ 唐菖蒲	188
トウシンサウ 燈心草	94
トウロウバナ	30
トキハナヅナ	106
トキンイバラ	249
トクサラン	266
トケイサウ	233
ドラセナ	258
トラデスカンチャ	55
トラノヲラン	224
トラノミミ 虎耳	43
トラベラーズジョーイ	39
ドラモンドーフロックス	161
ドラモンドフロックス	64

トラユリ 虎百合	200
トリカブト	17
トリトニア	207
トリトマ	56
トリプレツドリリー	203
トルコユリ	56
トレニア	149
トロパエオラム	150
トロロアフヒ	160

ナ

ナゴラン	273
ナーシサス	201
ナスターチウム	150
ナツエビネ	266
ナツギク 夏菊	35
ナツスミレ 夏堇	149
ナヅナザクラ	26, 109
ナナコマル 斜子丸	285
ナンキンアヤメ	181
ナンヤウクジヤク	213

ニ

ニゲラ	151
ニコチニアナ	252
ニシキイモ 錦芋	220
ニチリンサウ 日輪草	134
ニツポンオツクスアイデジー	58
ニハセキシヨウ 庭石菖	51
ニハナヅナ	106
ニフオファイア	56
ニホヒアラセイトウ	53
ニホヒスミレ 香堇	59
ニホヒユリ 香百合	209
ニホヒレセダ	85
ニユーバー	92
ニーレンベルギア	57
ニフエア	90

ダイトウリウ 大統龍	233
ダイヤモンドフラワー	51
タイワンオモト	224
タカサゴマル 高砂丸	235
タカサゴユリ 高砂百合	210
タガヤサン	262
タケシグサ 梗草	65
タケシマユリ 竹島百合	210
タコノキ	260
タータリアンアスター	20
タチアフヒ 立葵	23
タヂエテス	168
タチフジ 立藤	176
タツセルフフラワー	116
タツチミーナツト	155
ダツフォルデイル	201
タハラサウ 俵草	163
タハラムギ 俵麥	163
ダブルコスモス	128
タマシダ	231
タマスダレ 玉簾	195
タマノヤグサ 靈屋草	82
タママリバナ 玉毬花	140
タムラサウ	131
ダーリア	196
ダリアンサス	218
ダンギク 段菊	32
タンテウマル 丹頂丸	285
ダンドク	187

チ

チエーランサス	53
チエリーパイヘリオトロープ	69
チギタリス	52
チグリジア	200
チツクシード	127
チトセラ	224
チドリサウ 千鳥草	146
チーフソフィラ	137
チヤイナーアスター	99

チヤイニーズピオニー	63
チヤイニーズヒビスカス	235
チヤウキウサウ 長久草	164
チヤウジギク 丁字菊	36
チヤウジユクワ 長壽花	201
チヤウジユサウ 長壽草	146
チヤウシユンギク 長春菊	18
チヤウメイギク 長命菊	145
ヂヤスミニウム	229
ヂヤスミニウムアヅリクム	229
ヂヤスミニウムオドラチシナム	229
ヂヤスミニウムオフイシナール	229
ヂヤスミニウムグランデフローラム	229
ヂヤスミニウムヌデイロフルム	229
ヂヤスミニウムフミル	229
ヂヤスミン	229
ヂヤスミンサムバク	229
ヂヤスミントライナルフ	229
チュウギク 中菊	35
チューペローザスキレン	90
チューペローズ	199
チューリップ	198
チョークプラント	137

ツ

ツイタチサウ 朔日草	18
ツキミサウ 月見草	23
ツクバネアサガホ 筑波根朝顔	164
ツリウキサウ 釣浮草	66
ツリガネサウ 釣鐘草	30
ツリガネツツジ	215
ツリガネヤナギ 鐘柳	73
ツリトマ	56
ツリフネサウ	155
ツルギシダ	231
ツルサクラサウ 蔓櫻草	135
ツルツケイ 蔓素馨	229
ツルノケイトウ	147
ツルボ	192

スウオードリリー	188
スカイル	192
スカビオサ	140
スカーレットカファイアリリー	189
スカーレットセージ	131
スカーレットランナー	159
スキザンサス	141
スクリウパイン	260
スズラン 鈴蘭	191
スターカプシカム	49
スターフロックス	161
スタンポペア	270
ストックスピル	244
ストックスアスター	45
ストツケシア	45
ストネクロツプ	48
ストレプトカープス	227
ストレプトカープスウエンドランゲ	227
ストレプトカープスキューエンシス	227
ストレプトカープサンデルシ	227
ストレプトカープスダンニー	227
ストレプトカープスレキシ	227
ストロウフラワー	165
スナツプドラゴン	105
スノードロツプ	194
スノーボール	169
スパイレア	21
スパニツシユヂヤスミン	229
スハマサウ	81
スパラキレスリネアータ	51
スプリングスターフラワー	203
スペインヒヤシンス	205
スマダガハ 隅田川	285
スマレ	59
スモトリバナ	59
スルガラン	271

セ

セイシボク	256
セイヤウサクラサウ 西洋櫻草	236

セイヤウツツジ 西洋躑躅	215
セイヤウバラ	250
セイヤウヤマモモサウ 西洋山桃草	33
セイヨウアデサイ	234
セウナイサウ	271
セキコク	265
セキシヤウ 石菖	96
セキシヤウブ 石菖蒲	96
セキチヤウセイ 石長生	213
セキリウ 赤龍	284
セージ	131
セツゲツクワ 雪月花	285
セツチユウクワ 雪中花	201
セデウム	48
セネシオ	47, 226
セネシオエレガンス	47
ゼフィルフラワー	195
ゼフランテス	195
ゼラニウム	241
セロシア	144
センクツナ 千屈菜	82
センジュギク 千壽菊	168
センシヨウボク	261
セントウレア	143
センニチコウ 千日紅	130
センニチサウ 千日草	130
センネンボク	258

ソ

ソクキンサンクワ 側金盞花	18
ソケイ 素馨	229
ソシラン	271
ソラナム	49
ソリダゴ	50

タ

ダイアンサス	46
タイガーフラワー	200, 143

シキザキギク 四季咲菊	35
シキザキサクラサウ 四季咲櫻草	236
ヂギタリス	52
シクラメン	225
シシーリンキアム	51
シチヘンゲ	79
シネラリア	226
シネンシス	262
シバ 芝	87
シーピンク	15
ジープソフイラ	137
ジープソフイラエレガンス	137
ジープソフイラパニキュラタ	137
シプリペデウム	277
シマイチビ	254
シマラン	271
シメイギク	183
シャウガ	193
シャウガツサウ 正月草	18
シャウガツバナ 正月花	18
シャウジヤウマル 猩々丸	284
シャウリヤウバナ 精霊花	82
ジャカウサウ	69
ジャガタラスイセン	179
シャクナゲ	251
シャグマユリ	56
シャクヤク 芍薬	63
ジャコウナデシコ	218
ジャコウレンリサウ 麝香連理草	139
シャコバサボテン	281
シャスターギク	44
シャスターデジー	44
ジャノメギク	133
ジャパテスアイリス	180
シャープス	95
シャレーポピー	138
ジャンカス	94
シュウメイギク 秋明菊	183
シユクコンセイマガリバナ	26
シユンラン	271
ショウジョウサウ	246
ショウジョウサウ 猩々草	164

ショウテフゲ 翔蝶花	157
シヨクキ蜀葵	23
シヨンキユルスキセン	201
シラー	192
シラーヌダンス	192
シラーベルヴァイアナ	192
シリング	247
シルレルコテウラン	269
シレネ	135
シレネアルメニア	135
シレネコンパクタ	135
シレネペンズラ	135
シロカノコユリ	209
シロシヤクナゲ	251
シロソケイ 白素馨	229
シロナナコ 白斜子	285
シロバナアブラギク	29
シロバナイカリサウ	27
シロバナスキレン 白花睡蓮	90
シロバナムシヨケギク	44 62
シンクワ 慎火	48
シンザウグサ 心臟草	52
ジンジャー	193
ジンダイ 神代	282
ジンニア	136
シンニンギアスペシオサ	222
シンビデユム	271
ジンメンクワ 人面花	157
ジンモウラン	88

ス

スキギク 翠菊	45
スキジゴモ 水慈菰	97
スキセン 水仙	201
スキセンオウ 水仙翁	80
スキートアリツサム	106
スキートバイオレット	59
スキートピー	139
スキランゲ 翠蘭花	236
スウキートウキリアム	46

コオニユリ 小鬼百合	209
コキア	129
コギク 小菊	36
コケバラ	250
コゴメナデシコ	137
コザクラサウ 小櫻草	15
コスメア	128
コスモス	128
コスモスサルフレアス	128
コチーレドン	42
コツクスコム	144
コデイユム	256
コテフクラ 胡蝶花	141, 181
コテフスミレ 胡蝶堇	157
コトヂサウ 琴柱草	131
コバ	262
コバイモ	202
コバエア	41
コバンサウ 小判草	163
コマチグサ 小町草	135
ゴムパレナ	130
コメツツジ	215
コーラルベリス	60
コラン	271
ゴールデンウエーブ	127
ゴールデンロツド	50
コロンビア	211
コレオブシス	127
コロンパインピン	19
コンガウマル 金剛丸	284
コンバアラリア	191
コーンフラワー	143
コーンポピー	138
コンモンエロー	22
コンモンパンヂー	157
コンモンヒヤシンス	205

サ

サイクラメン	225
サイネリア	226

ザウコウクワ 藏紅花	190
サウブレット	225
サガギク 嵯峨菊	36
サキツタリヤ	97
サクシフラガ	43
サクナゲ	251
サクナンゲ	251
サクラサウ	236
ササユリ 笹百合	209
ササラ	281
サツキ	215
サツボウ	281
サツマギク	45, 99
サツマコンギク	99
サハヲグルマ	47
サフランモドキ	195
サボテン	281
サボテンギク	78
サマーペレニアルフロツクス	64
サルピグロツシス	132
サルピヤ	131
サルメンエビネ	266
サンクスヘツドリリー	202
サンゴバナ 珊瑚花	60
サンシキスミレ 三色堇	157
サンジサウ	124
ザンジバルスキレン	90
サンセイベリア	224
サンセビラ	224
サンダイガサ	192
サンビタリア	133
サンフラワー	134
サンプラント	166
サンマーシペラス	129

シ

シウカイダウ	243
シエウクワンサウ 子葉萱草	68
シヲニ 之乎邇	20
シオン	20

キンレンクワ 金蓮花..... 150

ク

クオキンググラス..... 163
 クサケフチクタク 草莢竹桃..... 64
 クサザクラ 草櫻..... 135
 クサスギカズラ..... 83
 クサトリカブト 草烏頭..... 17
 クジャクサウ 孔雀草..... 168
 クジャクシダ..... 213
 クジャクデンド..... 213
 クチベニスキセン 口紅水仙..... 201
 クチベニユリ 口紅百合..... 209
 グビジンサウ 虞美人草..... 138
 クマガイサウ..... 277
 クモンリウ 九紋龍..... 283
 クライビア..... 189
 クラーキア..... 124
 グラヂオラス..... 188
 クラブユリ..... 56
 グラマンセス..... 126
 クリサリドカーパス..... 255
 クリサンセマム..... 35, 44 77
 クリサンセマムニツポニカム..... 58
 クリサンセマムリユーカンセコム..... 29
 クリスマスローズ..... 70
 クリンサウ 九輪草..... 236
 クルマバサウ 車葉草..... 100
 クルマユリ 車百合..... 210
 クレオメ..... 125
 クレオメサウ..... 125
 グレープヒヤシンス..... 206
 クレマチス..... 39
 クレロデンドロン..... 223
 グロキシニア..... 222
 クロシベエリカ..... 217
 クロタネサウ..... 151
 クロツカス..... 190
 クロトン..... 256
 クローバー..... 40

クローバー..... 208
 グローブアマランス..... 130
 クロフネツツジ..... 215
 クロムスカリ..... 206
 クローリーツリー..... 223
 クワウクワ 黄苳..... 22
 クワエンサウ 火燄草..... 48
 クワキウクワ 火球花..... 136
 クワツコウアザミ..... 107
 クワボ 火母..... 48
 クワモクリット..... 108
 グワンジツサウ 元日草..... 18
 クンシラン 君子蘭..... 189

ケ

ケイテン 景天..... 48
 ケイテンサウ 景天草..... 48
 ケイトウ 鶏頭..... 144
 ケシ..... 158
 ゲツカカウ 月下香..... 199
 ケープバツグロス..... 103
 ケープフクシア..... 66
 ケーププリムローズ..... 227
 ケマンボタン..... 54
 ケンサイギク 猷歳菊..... 18
 ケンチャ..... 257
 ゲンドアザレア..... 215
 ゲンペイクサギ..... 223

コ

コアツモリサウ..... 277
 コアフヒ 小葵..... 148
 コウエンシクワ 工咽脂花..... 170
 コウクワ 紅花..... 190
 コウゲン 紅莧..... 101
 コウサイラツクワ 江西拉花..... 136
 コウスキサウ 香水草..... 69
 コウワウサウ 紅黃草..... 168

カーネーション	218
カノコシダ 鹿子羊齒	238
カブトバナ	17
ガーベラ	31
カミツレ	169
カモクリツト	108
カラー	219
カラクサホウライシダ	213
カラスイモ 烏芋	97
カラーリリー	219
カラデユーム	220
カランセ	266
ガランタス	194
カランドリニア	119
カリオプテリス	32
カリフォルニアポピー	138, 117
カルセオラリーヤ	221
カルデイオスペルマム	122
カレンデュラ	118
カロニクシオン	120
カンギク 寒菊	35
カンザウ	68
カンザクラサウ	236
カンタベリーベルス	30
カントリウーマン	179
カンナ	187
カンパニユラ	30
カンラン	271

キ

キアヤメ	181
キウクワ 救火	48
キエビネ	266
キオキナ 黄翁	283
キキヤウ 桔梗	65
キキヤウナデシコ	161
キク	35
キクイモモドキ	71
キクスキ 菊水	284
キジムシロ	76

キジンサウ	43
キソエビネ	266
キソケイ 黄素馨	229
ギダチカミルレ	77
キダチルリサウ	69
キツネノテブクロ	52
キツリフネ	155
キトクイウ 鬼督郵	93
キバナシシヤクナゲ	251
キバナヂキタリス	52
キバナノセキコク	265
キブネギク 貴船菊	183
キミカゲサウ	191
キミガヨラン 君ヶ代蘭	88
キメンカク 鬼面角	282
キヤテールゲーフェザー	86
キヤトリーフコンフラワー	84
キユウフエア	34
ギリア	123
キリアサシ	254
キリシマ	215
キリシマエビネ	266
キリンクワ	187
キンエボウシ 金烏帽子	281
キンギョサウ	105
キンクワサウ	50
ギンクワシヤウ 銀化粧	170
キンケマル 金毛丸	285
キンコ 金鯨	283
キンシンサイ 金針菜	68
キンセイ 金星	285
キンセイラン	266
ギンセカイ 銀世界	281
ギンセンカ	148
キンセンクワ 金盞花	118
キンチヤクサウ	221
キンネムノキ	253
キンヒモ 金紐	282
ギンヒモ 銀紐	282
キンブセン 金武扇	281
キンボタン 金牡丹	285
キンリヤウヘン	271

エドギク 江戸菊	45
エノセラ	28
エバーラスティングフラワー	165
エピヒラム	281
エピメデューム	27
エミリア	116
エリカ	217
エリデス	273
エルサレムチエリー	49
エレカンペー	25
エレフアントイーア	243
エンメイギク 延命菊	145

オ (ヲ)

オイラク 老樂	232
オイランサウ	64
オエノテラ	28
オキザリス	186
オキナニシキ 翁錦	282
オキナマル 翁丸	282
オジギサウ	171
オシロイバナ	170
オダマキ	19
オツクスアイデジー	29
オドントグロツサム	267
ヲニクワンサウ 鬼萱草	63
オニノシコグサ 鬼醜草	20
オニユリ 鬼百合	209
オピユムボビー	153
オフロ	190
オホイハギリサウ	222
オホギク 大菊	35
オホグルマ	25
オホケタデ 大毛蓼	74
オホセンボンヤリ	31
オホテンジンギク	121
オホバナセキコク	265
オホバベゴニア	243
オホハルシヤギク	127
オホハルミヤギク	128

オホハンゴサウ	84
オホヒモ 大紐	232
オホマツヨヒグサ	28
オホマンコマ	135
オモダカ	97
オモヒグサ 思草	20
オランダウマゴヤシ 和蘭苜蓿	40
オランダギク	45
オランダキジカクシ	212
オランダヒヤシンス	205
オランダレンゲサウ 和蘭紫囊英	40
オルターナンセラ	147
オレンヂジニア	136
オンシデウム	280

カ

カイクワ 戒火	48
カイザイク 貝細工	165
カイユ 海芋	219
ガイラルデア	121
カウセツラン 香雪蘭	239
カウホネ	92
カウモリラン	238
ガウラ	33
カガミグサ 鏡草	120
カガリビバナ	225
カキツバタ 燕子花	181
カクタス	281
カサイヤナギ 河西柳	82
カザグルマ 風車	39
ガシヤウラン 賀正蘭	18
カスカリラ	256
カスミサウ 霞草	137
カツコウアザミ	107
カツプフラワー	57
カツボンバナ	92
ガーデンフラックス	175
カトレア	278
カトレアモシイエ	278
カニバサボテン 蟹葉仙人掌	231

アンズリウムクリスタリナム.....	211
アンズリウムシエリツエリアナム.....	211
アンズリウムワローケアナム.....	211
アンチユサ.....	103
アンチリナム.....	105
アンブレラパルム.....	257
アンモビユーム.....	165

イ (イ)

キ 葦.....	94
イウテフゲ 遊蝶花.....	157
イエロアレカパルム.....	255
イカダカヅラ.....	240
イカリサウ 碓草.....	27
イキグサ 活草.....	48
イキシヤ.....	185
イザヨヒバラ.....	249
イスターフラワー.....	246
イセギク 伊勢菊.....	36
イツツツジ.....	215
イタリアアサガホ.....	108
イタリアンヂヤスミン.....	229
イチネンアマ.....	175
イチハツ 鷺尾.....	181
イチモンジギク 一文字菊.....	35
イチヤグサ 一夜草.....	48
イトクリ.....	19
イトクリサウ.....	19
イトナデシコ 糸撫子.....	137
イトバス.....	43
イトラン 糸蘭.....	88
イヌカミツレ.....	169
イヌラ.....	25
イハカヅラ.....	43
イハブキ.....	43
イバラマリバナ 荊毬花.....	253
イハレンゲ 石蓮華.....	42
イブニングプリムローズ.....	28
イペリス.....	26, 109
イボメア.....	110

キヤンヂタフト.....	109
イリス.....	180
イングリツシデジー.....	145
インデアンピンク.....	108
インドアザレア.....	215
インドアツモリサウ.....	277
インバチエンス.....	155

ウ

ヴァンダ.....	268
ヴァイオラ.....	157, 59
ウインドフラワー.....	183
ウオーターアイリス.....	180
ウオーターヒヤシンス.....	93
ウオーターリリー.....	90
ウオールフラワー.....	53
ウキツリボク.....	254
ウシノシタ.....	227
ウシノシタクサ.....	103
ウシノフグリ.....	93
ウスベニニガナ.....	116
ウツコンカウ 鬱金香.....	198
ウツドソーレル.....	186
ウツボカヅラ.....	259
ウバダマ 烏羽玉.....	284
ウマゴヤシ.....	40
ウマノアシガタ.....	208
ウラシマサウ 浦島草.....	136
ウンゼンツツジ.....	215

エ (エ)

エイザンコウ 映山紅.....	215
エイザンユリ 叡山百合.....	209
エウラクツツジ 瓔珞躑躅.....	215
エスクロージア.....	117
エゾギク.....	99
エツチヨルニア.....	93
エツデングロベリア.....	177

アサガホ 朝顔	110
アサガホタバコ	132
アサギスキセン	239
アザレア	215
アザレアアルブレチー	215
アザレアインヂカ	215
アザレアインヂカヅイオブツサ	215
アザレアインヂカヅイケンブエリー	215
アザレアインヂカヅイマクランツム	215
アザレアウエリツチー	215
アザレアカナデンシス	216
アザレアガンダビエンシス	215
アザレアキツペンバツキ	215
アザレアサーピリフオリウム	215
アザレアシネンシス	215
アザレアデイレタタム	215
アザレアテスチヨノスキー	215
アザレアボンチカ	215
アザレアマクロセパラム	215
アザレアリペンセ	215
アザレアレデーフオリウムヴイナーシツシ フロラ	215
アザレアレデイフオリウムヴイリユカンツム	215
アザレアロンビクム	215
アジアンタム	213
アジアンタムエチオピカム	213
アジアンタムカピルスビエネリス	213
アジアンタムキュネアタム	213
アジアンタムコーダタム	213
アジアンタムヒスピデユラム	213
アジアンタムフォーモサナム	213
アジアンタムペーダタム	213
アジアンタムレニフォルム	213
アジヤボニカ	183
アスター	99
アスタータータリカス	20
アスチルベ	21
アスパラガス	212
アスパラガススプレングリー	212
アスパラガスプリモサス	212
アスパラガスプリモサスナナス	212
アスパラガスミリオクラダス	212

アスパラガスメデオロイデス	212
アスパラガスリユースィダス	83
アスパラガスルウシダス	212
アスベルラ	100
アダムスニードル	88
アヅマギク 東菊	45
アツモリサウ	277
アドニス	18
アネシフオリユーム	77
アネモネ	183
アプチロン	254
アフリカギク	31
アフリカンデジー	31
アフリカンリリー	182
アヘパチカ	183
アマ	175
アマダマシ	57
アマモドキ	57
アマランタス	101
アマリリス	179
アメリカアザレア	216
アメリカサウ	166
アメリカナデシコ	46
アヤメ	181
アヤメスキセン	239
アラゲクジヤク	213
アラセイトウ 紫羅蘭花	53, 142
アラビアンヂヤスミン	229
アーリーコスモス	128
アリツサム	106
アルカンナ	103
アルタ	23
アルター	23
アルターナンセラ	147
アルメリア	15
アレカ	255
アロンソア	104
アワダチサウ 泡立草	50
アワモリサウ 泡盛草	21
アンブレカム	272
アンスリウム	211
アンスリウムアンドレアナム	211

圖說 花卉栽培法便覽

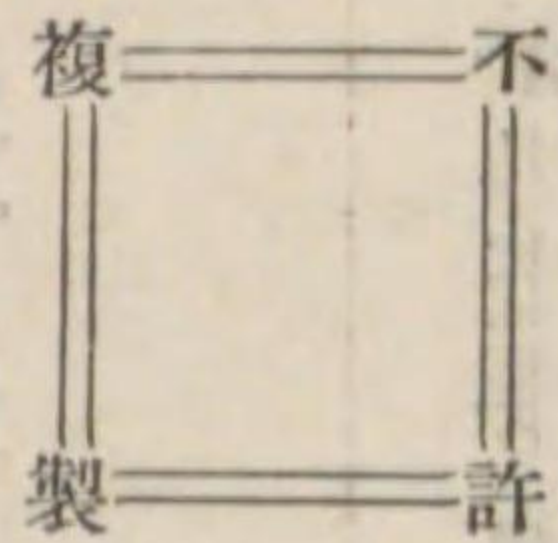
花卉名索引

ア

アイフヨウ 藍芙蓉	143
アイリス	180
アイリスアルボパーブレア	180
アイリスオリエンタリス	180
アイリスグラシリス	180
アイリスゲルマニカ	180
アイリスシネンシス	180
アイリスジヤポニカ	180
アイリステクトラム	180
アイリスブシユードコールス	180
アイリスブミス	180
アイリスホーテンシス	180
アカカノコユリ	209
アカシア	253
アカバナスキレン 赤花睡蓮	91
アカバナヒツジグサ	90
アカバナムシヨケギク 赤花除蟲菊	62
アガパンサス	182
アカンサス	16
アキギク 秋菊	35
アキザクラ 秋櫻	128
アキノキリンサウ	50
アキボタン 秋牡丹	183
アキメネス	184
アキランサス	98
アキレア	22
アクイレジア	19
アークトテイス	24
アグロステマ	102
アゲラータム	107
アコニタム	17
アコラス	96

昭和六年九月二十五日初版印刷
昭和六年十月五日初版發行

圖說 花卉栽培法便覽
定價 一圓三十錢



編纂者

東京市麴町區富士見町一丁目二〇番地

教育資料研究所

印刷者兼

小林弘幸

印刷所

東京市麴町區富士見町一丁目二〇番地

研友社印刷所

發行所

東京市九段坂上
電話九〇七七五番
振替口座 東京二八五九九番

研友社

世界的名著！本書は農學の母なり

千葉高等園藝學校教授
農學士 法學士 石川武彦著

約舊 聖書 農業考 【定價二圓五十錢】
〔送料十二錢〕

四六版上質三百四十頁舶來クロス製
天金金文字入豪華版

最新刊

內容大略

國勢の概要 廣袤、氣候、地質、民族、農本思想 農業に關する祭禮 耕種 普通
作物、園藝作物、工藝作物、病蟲害、養畜 一般、農業經營 農地の所有、農地の配
分、農地の賣買、農業労働 種類、期間、賃銀、農業資本 固定資本、流動資本、
農業組織 農業の組成、養畜式、耕種式、農産製造式、管理の態様、自營農、借地農、
舊約農業の概要 初期より末期に至る、結言 附錄 度量衡比較表 英譯概要

內容充實 價格低廉は本書の特徴なり

忽ち三版

實 驗 漬物加工法 【定價二圓五十錢】
〔送料十八錢〕

元愛知物産加工場場長 加藤謙一著
臺灣總督府東部農産試驗場園藝部主任
菊版上質四百餘頁舶來クロス製
大形寫真圖版七十餘挿入

農村振興と本書…農閑を利用して漬物加工をなせば忽ち農村繁榮し國家隆盛をなす

加工業者の秘訣寶典…營業者の秘訣を網羅し餘す所なし實に加工業者の經營並に加工寶典な

農學生の必携寶典…近代の農學生は栽培本位より加工本位に轉換すべき時である本書は諸
君のパイロットなり

主婦女學生の虎ノ巻…美味なる漬物の自給自足は一家繁榮團樂の基なり

569
349



Kempusha